

第 2 章 学校施設の実態

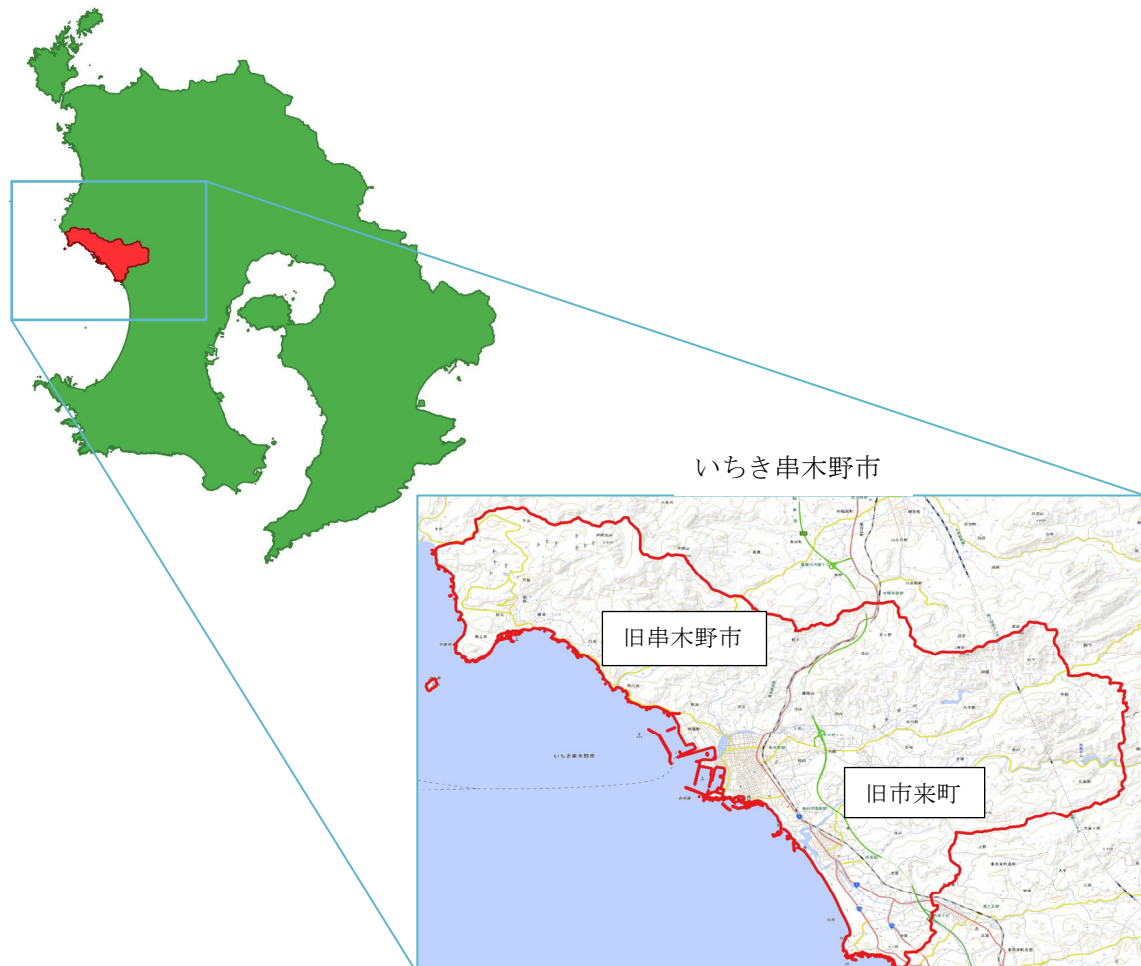
1. 学校施設を取り巻く状況

(1) いちき串木野市の概況

本市は、西側を東シナ海に、北側と東側を山々に囲まれた、東西 19.1km、南北 18.2km、総面積 112.30 k²の都市です。

西に白砂青松が続く吹上浜の海岸線、東に徐福伝説の霊峰冠嶽を控え、海・山・温泉等の自然と温暖な気候に恵まれた風光明媚な場所に位置し、また、串木野駅、市来駅、神村学園前駅の 3 つの鉄道駅に、2 箇所の自動車道インター等、生活環境や利便性にも恵まれています。

2005(平成 17)年 10 月 11 日に串木野市と日置郡市来町が合併して誕生した都市であり、旧市町の市街地を中心とした 2 極化の都市構造が形成されています。



図：本市の位置

(2) 人口・世帯数の推移

本市の人口は減少傾向にあります。令和 2 年の国勢調査時点で 27,490 人となっており、平成 2 年から令和 2 年までの 30 年間で、9,300 人減少しています。

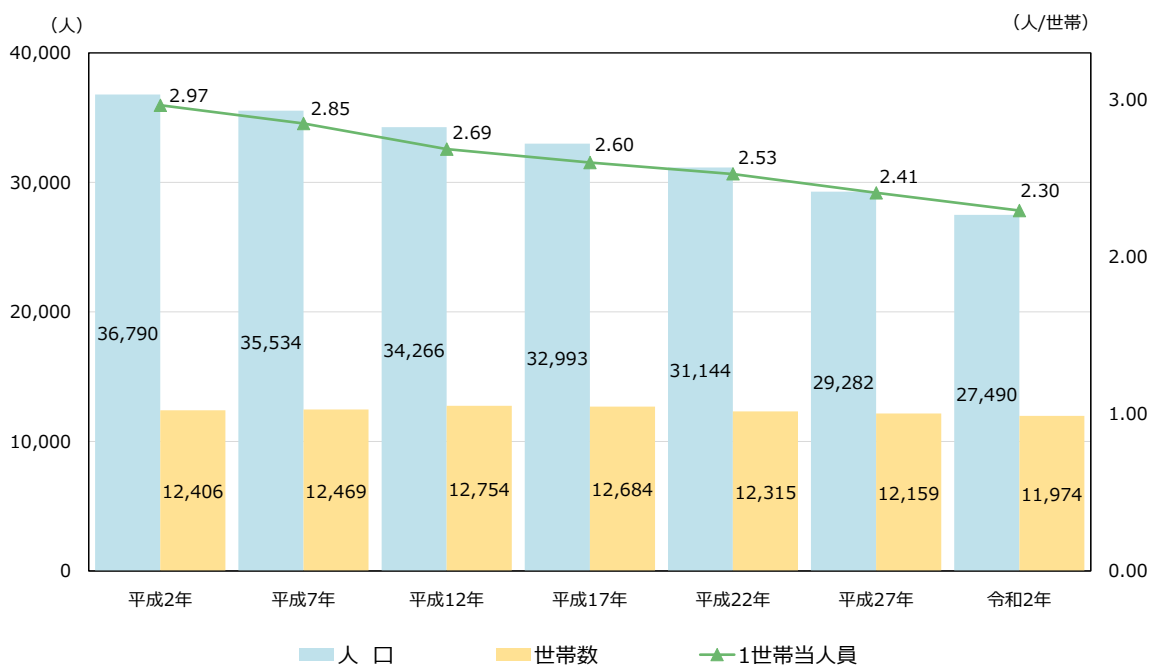
世帯数も減少傾向にあります。令和 2 年の国勢調査時点で 11,974 世帯となっており、30 年間で約 430 世帯減少しています。

世帯当たり人員は年々少なくなっており、令和 2 年の国勢調査では、1 世帯当たり 2.30 人となっています。

表：人口・世帯数の推移

単位：人、世帯

いちき串木野市	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
人口	36,790	35,534	34,266	32,993	31,144	29,282	27,490
世帯数	12,406	12,469	12,754	12,684	12,315	12,159	11,974
1世帯当人員	2.97	2.85	2.69	2.60	2.53	2.41	2.30



図：人口・世帯数の推移

資料：国勢調査

(3) 年齢別人口の推移

年齢 3 区分別人口の推移をみると、15 歳未満人口は平成 2 年の 7,227 人から令和 2 年には 3,165 人へと減少し、人口に占める比率も約 1 割となっています。

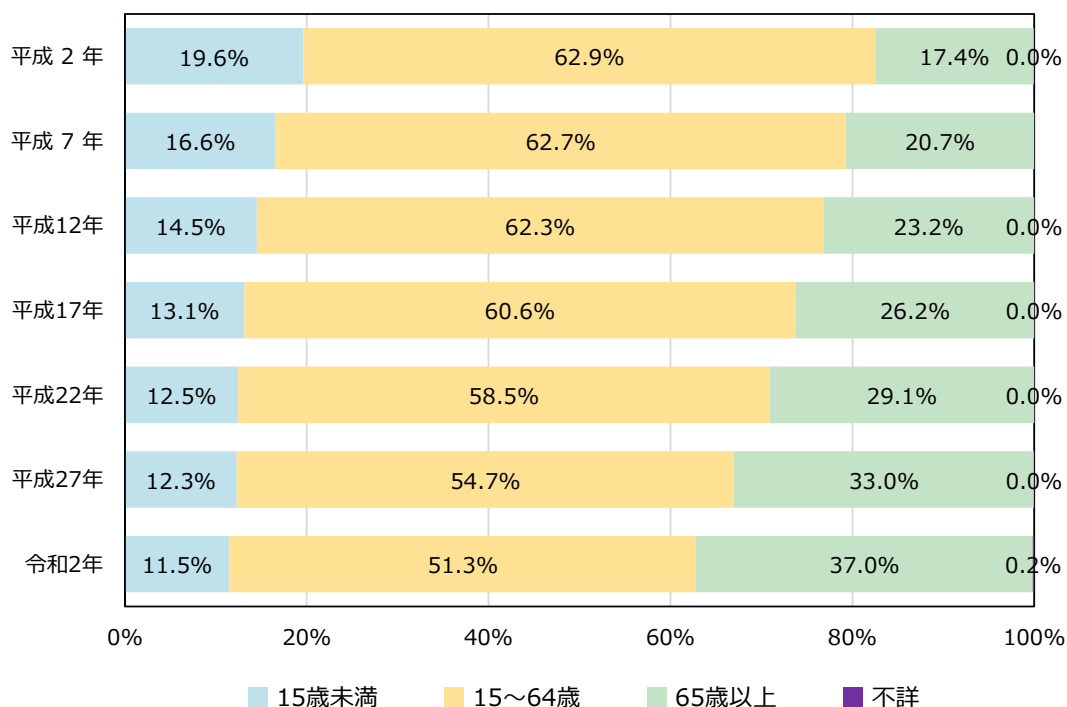
一方、65 歳以上人口は、平成 2 年の 6,414 人から令和 2 年には 10,172 と増加し、4 割弱の人口比率となっています。

年齢別人口割合の推移をみると、65 歳以上人口の割合は年々増加し、平成 7 年時点で 65 歳以上人口が 15 歳未満人口を上回り、急速に少子高齢化が進行しています。

表：年齢別人口の推移

単位：人

年齢別	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
15歳未満	7,227	5,895	4,979	4,336	3,881	3,606	3,165
15～64歳	23,133	22,278	21,349	20,005	18,204	16,008	14,107
65歳以上	6,414	7,361	7,934	8,651	9,057	9,658	10,172
不詳	16	0	4	1	2	10	46



図：年齢別人口の割合の推移

資料：国勢調査

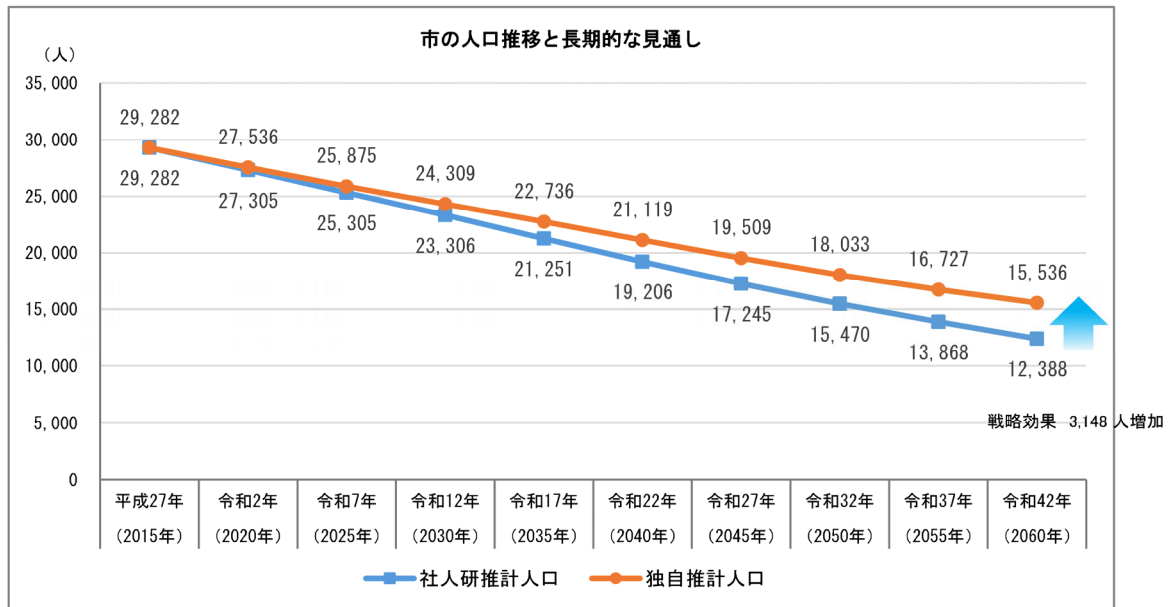
(4) 将来人口

本市の将来人口については、令和3年3月に発行された「いちき串木野市人口ビジョン(改訂版)」において、以下のようになっています。

【市の人口の長期的な見通し】

●令和42(2060)年に約3,000人の施策効果

- ・社人研の推計によると、令和42(2060)年の本市の人口は12,388人まで減少するとされる。
- ・市の見通しでは、戦略による効果が着実に反映され、合計特殊出生率と移動数の目標値を達成すれば、令和42(2060)年の本市の人口は15,536人となり、社人研推計と比較して3,148人の施策効果が見込まれる。



【独自推計の年齢3区分別人口・構成比の推移】

	平成27年 (2015年)	令和2年 (2020年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和17年 (2035年)	令和22年 (2040年)	令和27年 (2045年)	令和32年 (2050年)	令和37年 (2055年)	令和42年 (2060年)
総人口	29,282	27,536	25,875	24,309	22,736	21,119	19,509	18,033	16,727	15,536
年少人口	3,606	3,422	3,380	3,413	3,344	3,219	3,046	2,906	2,774	2,657
生産年齢人口	16,008	14,085	12,661	11,561	10,647	9,705	8,774	7,976	7,475	7,116
老年人口	9,658	10,029	9,834	9,335	8,745	8,195	7,689	7,151	6,478	5,763
年少人口比率	12.3%	12.4%	13.1%	14.0%	14.7%	15.2%	15.6%	16.1%	16.6%	17.1%
生産年齢人口比率	54.7%	51.2%	48.9%	47.6%	46.8%	46.0%	45.0%	44.2%	44.7%	45.8%
老年人口比率	33.0%	36.4%	38.0%	38.4%	38.5%	38.8%	39.4%	39.7%	38.7%	37.1%

図：本市の人口推移と長期的な見通し

資料：いちき串木野市人口ビジョン

(5) 小学校区別人口の推移

令和3年3月31日時点の人口分布を小学校区ごとで見ると、串木野小学校区に一番人口が集中しており、次いで市来、照島の順になっています。国勢調査年である平成17年度、平成22年度、平成27年度、令和2年度の各人口の推移をみると、すべての小学校区で人口が減少しています。

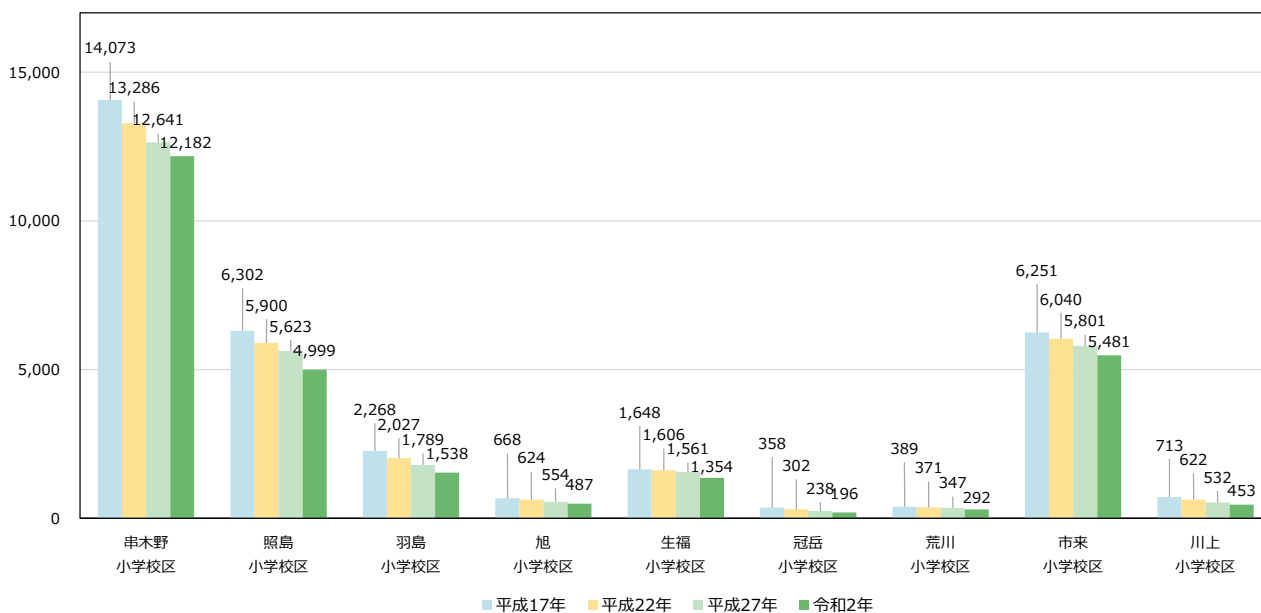
表：小学校区別人口の推移

単位：人

地区	校区	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和2年/ 平成17年	
						増減	増減率
串木野	串木野小学校区	14,073	13,286	12,641	12,182	▲ 1,891	▲ 13.4%
	照島小学校区	6,302	5,900	5,623	4,999	▲ 1,303	▲ 20.7%
	羽島小学校区	2,268	2,027	1,789	1,538	▲ 730	▲ 32.2%
	旭小学校区	668	624	554	487	▲ 181	▲ 27.1%
	生福小学校区	1,648	1,606	1,561	1,354	▲ 294	▲ 17.8%
	冠岳小学校区	358	302	238	196	▲ 162	▲ 45.3%
	荒川小学校区	389	371	347	292	▲ 97	▲ 24.9%
市来	市来小学校区	6,251	6,040	5,801	5,481	▲ 770	▲ 12.3%
	川上小学校区	713	622	532	453	▲ 260	▲ 36.5%
	合計	32,670	30,778	29,086	26,982	▲ 5,688	▲ 17.4%

(人)

※ 冠岳小学校は令和3年度から生福小学校と統合



図：小学校区別人口の推移

資料：平成17年～平成27年は「いちき串木野市公共施設等総合管理計画」

令和2年は庁内資料

(6) 財政状況

① 歳入（一般会計）の内訳

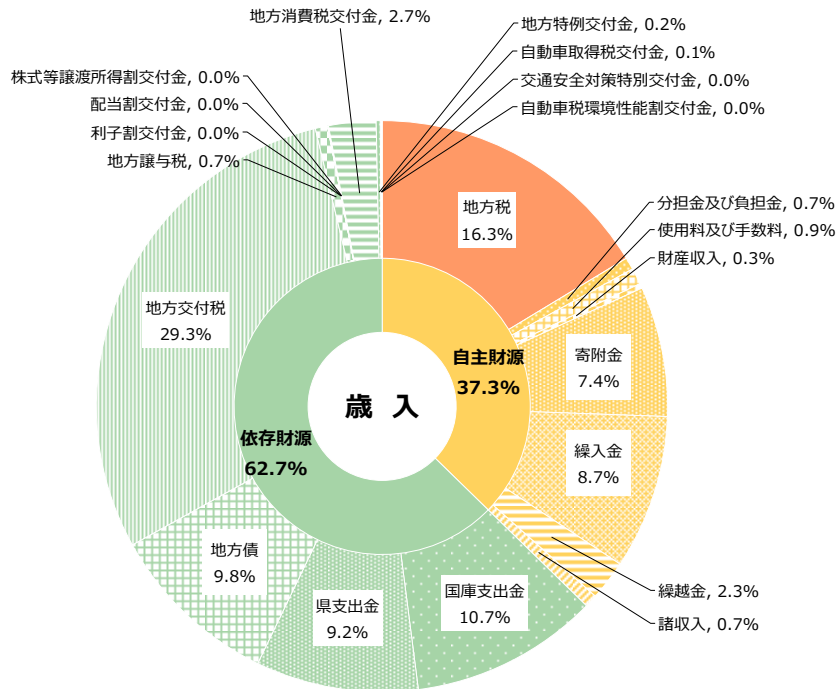
令和元年度決算の歳入額は 186 億 6,308 万円であり、前年度と比較すると 11 億 76 万円増加しています。

自主財源では「地方税」が 16.3%、依存財源では「地方交付税」が 29.3%と最も多くなっています。

表：歳入（一般会計）の内訳

単位：千円、%

区分	款	令和元年度		平成30年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
自主財源	地方税	3,048,325	37.3%	3,068,495	35.4%	▲ 20,170
	分担金及び負担金	129,036		145,741		▲ 16,705
	使用料及び手数料	170,717		179,511		▲ 8,794
	財産収入	50,700		42,101		8,599
	寄附金	1,373,436		1,698,902		▲ 325,466
	繰入金	1,632,776		478,932		1,153,844
	繰越金	422,679		492,712		▲ 70,033
	諸収入	133,585		114,866		18,719
	国庫支出金	1,990,970		62.7%		1,972,391
県支出金	1,717,377	1,701,358	16,019			
地方債	1,821,880	1,449,661	372,219			
地方交付税	5,471,343	5,503,314	▲ 31,971			
地方譲与税	129,506	126,433	3,073			
利子割交付金	1,806	4,447	▲ 2,641			
配当割交付金	5,511	4,922	589			
株式等譲渡所得割交付金	3,163	5,747	▲ 2,584			
地方消費税交付金	499,530	530,420	▲ 30,890			
地方特例交付金	43,070	16,612	26,458			
自動車取得税交付金	11,168	22,242	▲ 11,074			
交通安全対策特別交付金	3,366	3,507	▲ 141			
自動車税環境性能割交付金	3,132	-	3,132			
合計	18,663,076	100.0%	17,562,314		100.0%	1,100,762



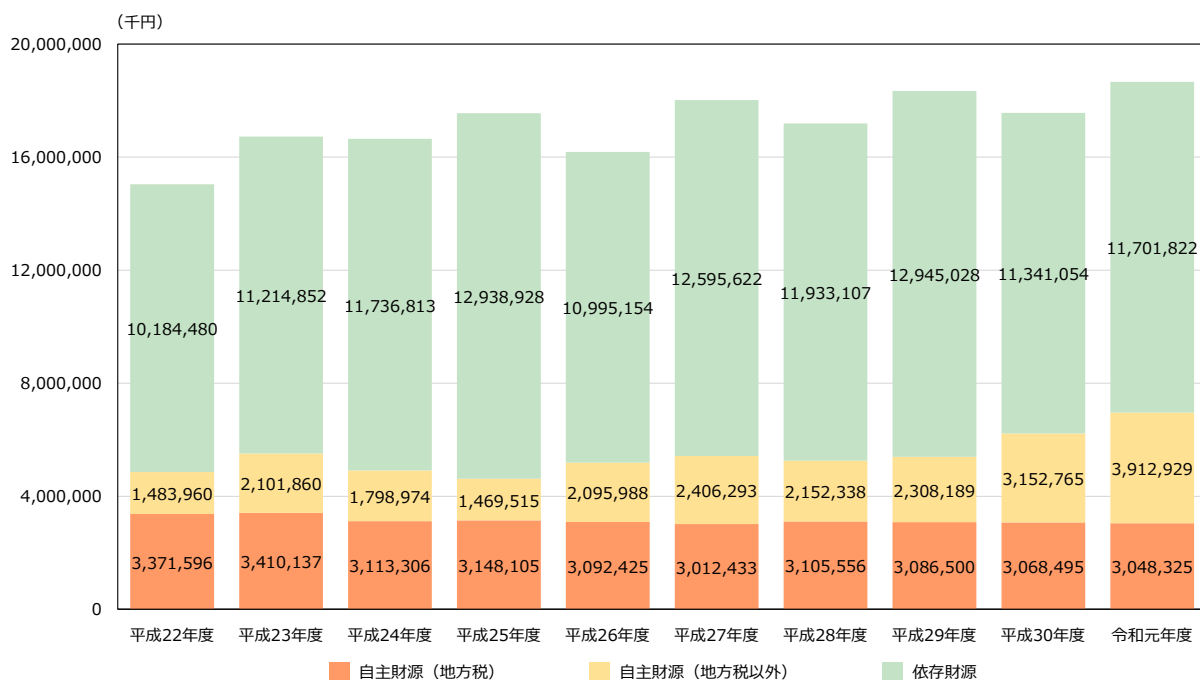
図：令和元年度 歳入（一般会計）の内訳

資料：総務省決算カード

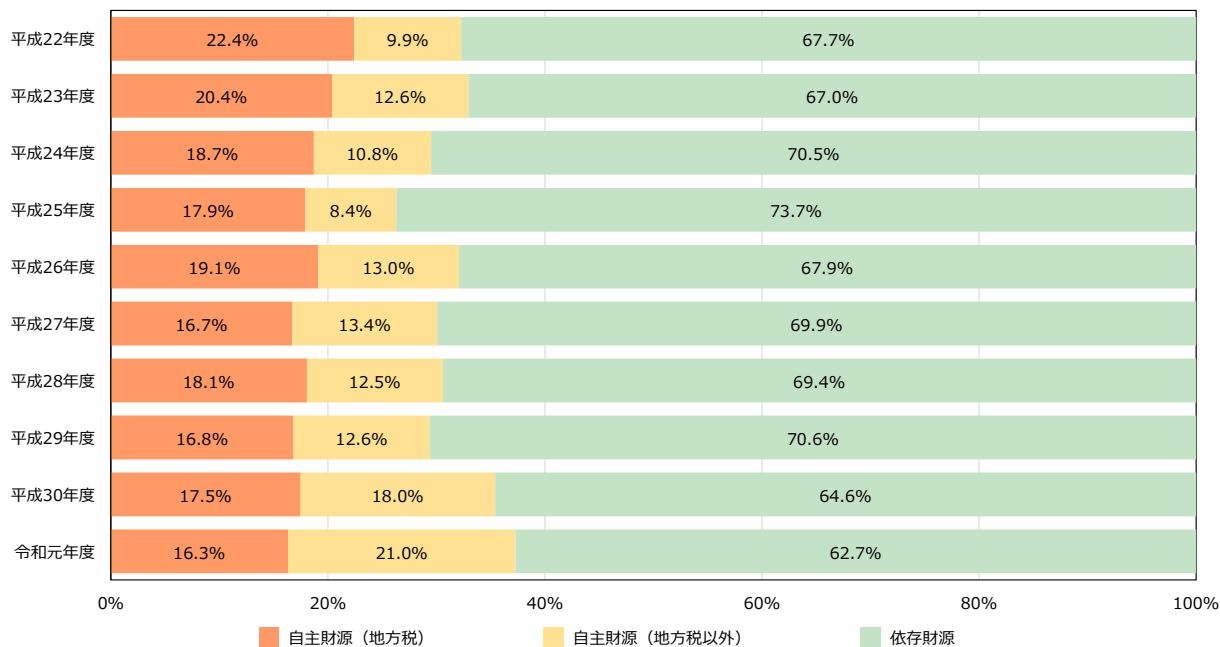
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

平成 22 年度以降の歳入の推移をみると、「地方税」は 30 億円強を保っています。

今後は人口減少が続く、特に生産年齢人口の割合が減少すると見込まれるため、「地方税」の減少が予想されます。



図：歳入（一般会計）の推移



図：歳入（一般会計）の割合の推移

資料：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

② 歳出（一般会計）の内訳

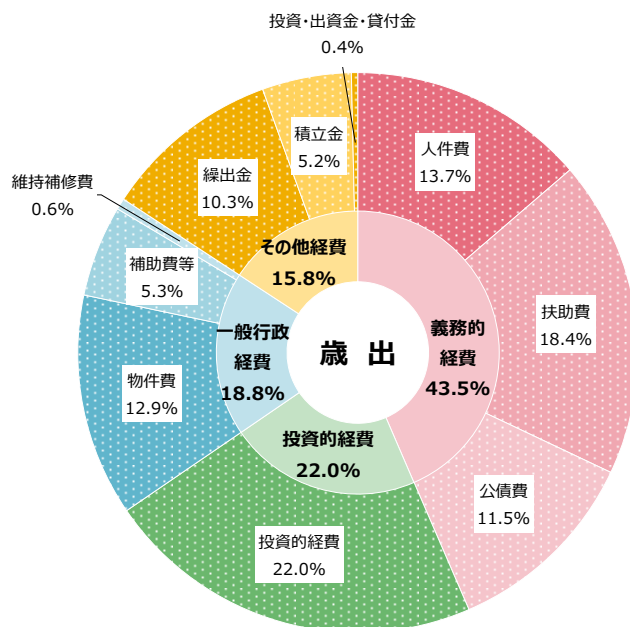
令和元年度決算の歳出額は、181 億 6988 万円であり、前年度と比較すると 10 億 3,024 万円増加しています。

義務的経費では「扶助費」が 18.4%、一般行政経費では「物件費」が 12.9%、その他経費では「繰出金」が 10.3%と最も多くなっています。

表：歳出（一般会計）の内訳

単位：千円、%

区分	款	令和元年度		平成30年度		増減額
		決算額	構成比	決算額	構成比	
義務的経費	人件費	2,486,502	43.5%	2,611,283	46.5%	▲ 124,781
	扶助費	3,334,482		3,282,669		51,813
	公債費	2,083,340		2,082,374		966
投資的経費	投資的経費	3,988,713	22.0%	2,283,347	13.3%	1,705,366
一般行政経費	物件費	2,334,965	18.8%	2,565,885	21.3%	▲ 230,920
	補助費等	957,885		973,929		▲ 16,044
	維持補修費	117,868		105,889		11,979
その他経費	繰出金	1,863,460	15.8%	1,810,840	18.9%	52,620
	積立金	936,640		1,386,525		▲ 449,885
	投資・出資金・貸付金	66,024		36,894		29,130
合計		18,169,879	100.0%	17,139,635	100.0%	1,030,244



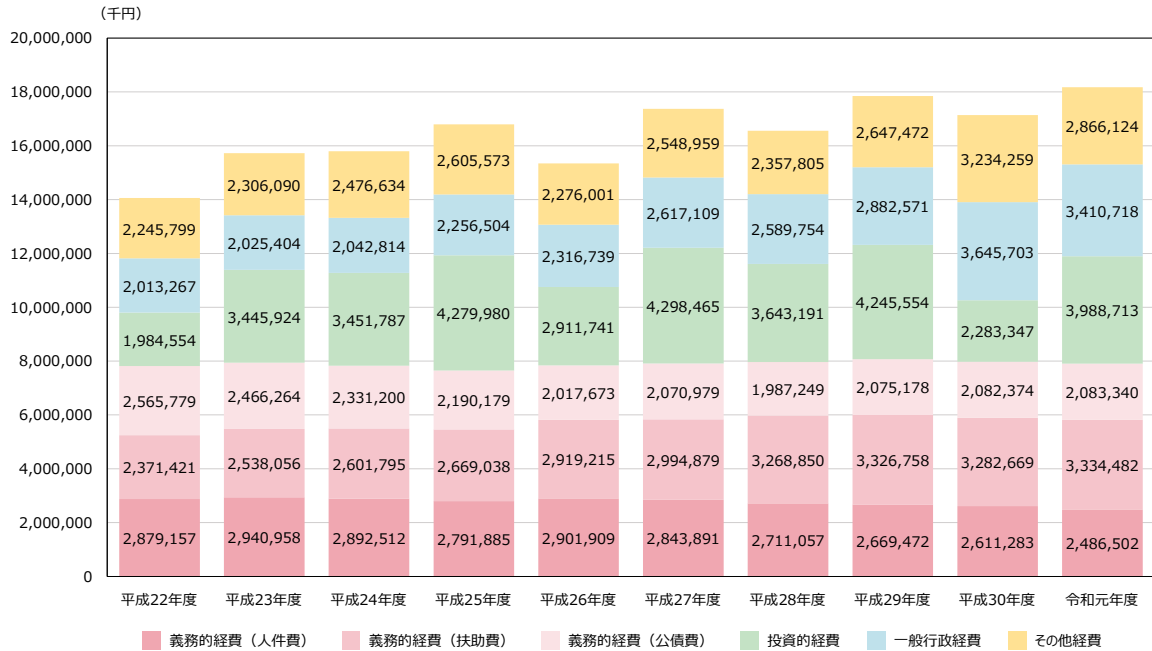
図：令和元年度 歳出（一般会計）の内訳

資料：総務省決算カード

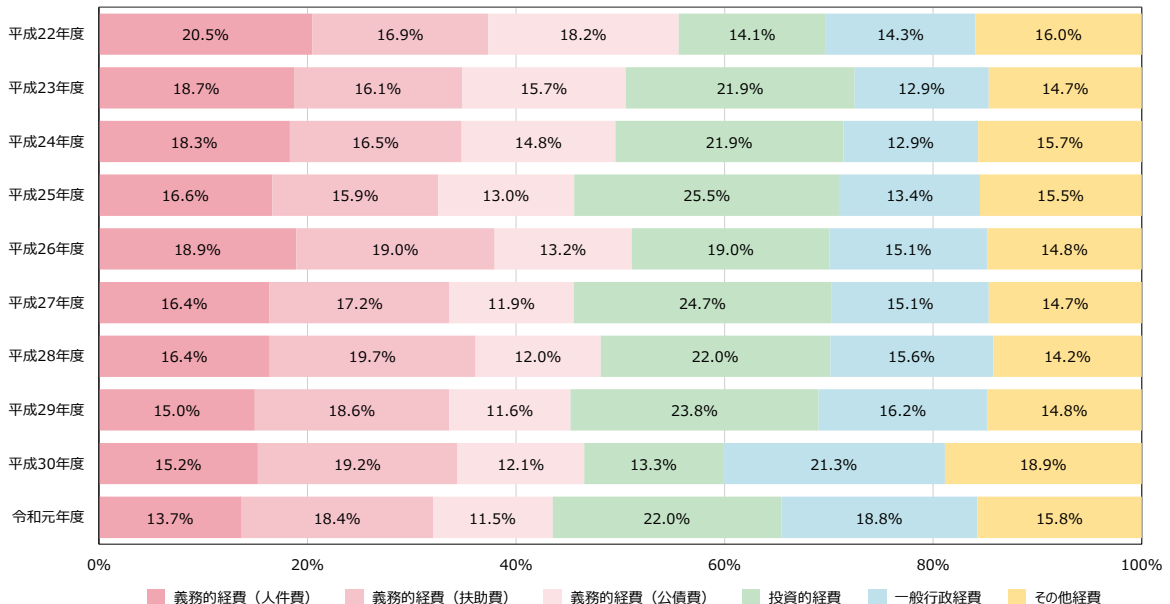
※構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

平成 22 年度以降の歳出の推移をみると、高齢化に伴い、「扶助費」が年々増加傾向にあることがわかります。一方、投資的経費は平成 30 年度が少ないものの、2 割程度の割合を保っています。

将来的に高齢化の進展に伴い、後期高齢者医療費や介護保険等の負担が増大していくことで扶助費等の増加が予想されます。



図：歳出（一般会計）の推移



図：歳出（一般会計）の割合の推移

資料：総務省決算カード

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100 とはならない。

2. 運営状況・活用状況の把握

(1) 公共施設全体の保有状況

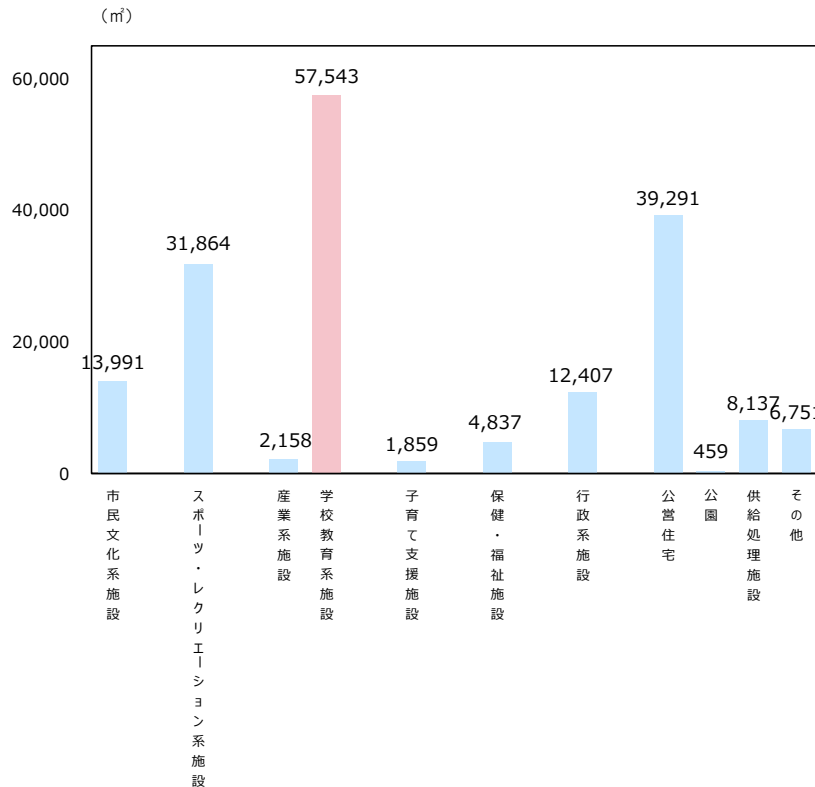
「いちき串木野市公共施設等総合管理計画」では、本市の公共施設は全体で 201 施設、延床面積 179,297 m²となっています。

分類別の延床面積が多い順に、学校教育系施設、公営住宅、スポーツ・レクリエーション施設となっています。学校教育系施設の延床面積は 57,543 m²となり、全体の約 3 割を占めています。

表：分類別延床面積割合

分類	施設数	延床面積	
		面積 (m ²)	構成比
市民文化系施設	17	13,991	7.8%
スポーツ・レクリエーション系施設	29	31,864	17.8%
産業系施設	5	2,158	1.2%
学校教育系施設	17	57,543	32.1%
子育て支援施設	4	1,859	1.0%
保健・福祉施設	7	4,837	2.7%
行政系施設	18	12,407	6.9%
公営住宅	28	39,291	21.9%
公園	30	459	0.3%
供給処理施設	4	8,137	4.5%
その他	42	6,751	3.8%
合計	201	179,297	100.0%

※ 学校教育系施設には旧冠岳小学校を含む



図：大分類別延床面積割合

資料：いちき串木野市公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月策定）

(2) 学校施設の保有状況

本市の小学校 8 校、中学校 5 校、幼稚園 1 園の建物のうち、延床面積 200 m²以下の部室、倉庫、トイレ等の小規模な建物を除いた一覧を以下に示します。

表：対象施設一覧（小学校）

※新耐震：1981年6月1日以降 単位：年、m²、室

施設名	開校年度	建物名称	棟番号	構造	階数	建築年度		経過年数	耐震基準	延床面積(m ²)	校地面積	教室		
						西暦	和暦					教室数	普通	特別
くしきの串木野小学校	(1869年) 明治2年	管理棟1F	001	RC造	1	1972	S47	49	旧	195	37,049	36	22	14
		管理棟1F	001-1	RC造	1	1973	S48	48	旧	160				
		管理棟2F	001-2	S造	2	1978	S53	43	旧	316				
		階段室	001-3	S造	2	1978	S53	43	旧	6				
		教室棟	011-1	RC造	2	1963	S38	58	旧	440				
		教室棟	011-2	RC造	2	1964	S39	57	旧	360				
		教室棟	011-3	RC造	2	1965	S40	56	旧	281				
		教室棟	011-4	RC造	2	1965	S40	56	旧	292				
		屋内運動場	018	RC造	1	1969	S44	52	旧	1,109				
		教室棟	037	RC造	2	1999	H11	22	新	872				
		教室棟	038	RC造	2	1999	H11	22	新	2,112				
		教室棟	039	RC造	2	2000	H12	21	新	1,487				
小計										7,630				
てるしま照島小学校	(1879年) 明治12年	教室棟	001	RC造	2	1973	S48	48	旧	1,209	16,290	19	9	10
		教室棟	001-1	RC造	2	1976	S51	45	旧	394				
		管理棟	002	RC造	2	1979	S54	42	旧	1,451				
		管理棟	002-1	RC造	2	1980	S55	41	旧	507				
		屋内運動場	004	RC造	1	1986	S61	35	新	919				
小計										4,480				
はしま羽島小学校	(1879年) 明治12年	管理教室棟	001	RC造	2	1982	S57	39	新	1,398	9,916	15	6	9
		教室棟	003-1	RC造	2	1966	S41	55	旧	832				
		教室棟	003-2	RC造	2	1967	S42	54	旧	230				
		屋内運動場	015	RC造	2	1985	S60	36	新	781				
小計										3,241				
あさひ旭小学校	(1879年) 明治12年	管理棟	001	W造	1	1972	S47	49	旧	302	9,278	10	5	5
		図書室	002	W造	2	1990	H02	31	新	168				
		教室棟	003	W造	1	1972	S47	49	旧	427				
		音楽室	006-1	W造	1	1972	S47	49	旧	94				
		給食室	006-2	W造	1	1982	S57	39	新	7				
		給食室	006-3	W造	1	1998	H10	23	新	4				
屋内運動場	008	S造	1	1976	S51	45	旧	532						
小計										1,534				
せいふく生福小学校	(1892年) 明治25年	管理・特別教室棟	001	RC造	2	1989	H01	32	新	577	8,641	14	8	6
		教室棟	007-1	RC造	2	1968	S43	53	旧	687				
		教室棟	007-2	RC造	2	1978	S53	43	旧	276				
		屋内運動場	008	RC造	1	1981	S56	40	新	576				
小計										2,116				
あらかわ荒川小学校	(1879年) 明治12年	音楽室	001	W造	1	1977	S52	44	旧	164	7,546	8	3	5
		多目的教室	003-1	RC造	1	1964	S39	57	旧	311				
		給食室	003-2	W造	1	1982	S57	39	新	6				
		屋内運動場	010	RC造	1	1975	S50	46	旧	532				
		普通教室	015	RC造	2	1986	S61	35	新	389				
小計										1,402				
いちき市来小学校	(1872年) 明治5年	特別教室棟	002	S造	1	1968	S43	53	旧	300	14,487	25	15	10
		屋内運動場	003	RC造	1	2003	H15	18	新	804				
		教室棟	016	RC造	3	1971	S46	50	旧	992				
		教室棟	017	RC造	3	1972	S47	49	旧	1,752				
		特別教室棟	021	RC造	2	1983	S58	38	新	475				
小計										4,323				
かわかみ川上小学校	(1882年) 明治15年	屋内運動場	001	RC造	1	1979	S54	42	旧	573	7,546	10	3	7
		教室棟	003	RC造	3	1966	S41	55	旧	1,106				
		家庭科室	008	W造	1	1990	H02	31	新	250				
小計										1,929				
総合計										26,655				

※経過年数は2021年時点

資料：令和3年度 いちき串木野市公立学校施設台帳

※200 m²以下の建物は除く

表：対象施設一覧（中学校）

※新耐震：1981年6月1日以降 単位：年、㎡、室

施設名	開校年度	建物名称	棟番号	構造	階数	建築年度		経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)	校地面積	教室		
						西暦	和暦					教室数	普通	特別
くしきの串木中学校	(1947年) 昭和22年	校舎	030-1	RC造	3	1993	H05	28	新	3,092	31,951	35	11	24
		校舎	030-2	RC造	3	1993	H05	28	新	443				
		校舎	030-3	RC造	3	1993	H05	28	新	2,980				
		屋内運動場	032-1	RC造	3	1996	H08	25	新	1,910				
		屋体クラブハウス	032-2	RC造	3	1996	H08	25	新	200				
		柔剣道場	032-3	RC造	3	1996	H08	25	新	750				
		部室	032-4	RC造	3	1996	H08	25	新	297				
小計									9,672					
くしきのにし串木野西中学校	(1970年) 昭和45年	管理教室棟	001	RC造	3	1970	S45	51	旧	1,627	22,670	22	6	16
		教室棟	001-1	RC造	3	1971	S46	50	旧	1,468				
		特別教室棟	002	RC造	2	1971	S46	50	旧	821				
		屋内運動場	003	RC造	1	1971	S46	50	旧	919				
		小計												
はしま羽島中学校	(1947年) 昭和22年	管理教室棟	001	RC造	3	1976	S51	45	旧	1,576	12,641	14	5	9
		印刷室	001-2	RC造	1	1987	S62	34	新	14				
		特別教室棟	004	RC造	3	1987	S62	34	新	600				
		屋内運動場	018	RC造	1	1978	S53	43	旧	614				
		小計												
せいかん生冠中学校	(1947年) 昭和22年	特別教室棟	002	RC造	2	1988	S63	33	新	459	15,714	14	4	10
		管理教室棟	004	RC造	2	1977	S52	44	旧	1,105				
		屋内運動場	012	RC造	1	1974	S49	47	旧	621				
		小計												
いちき市来中学校	(1947年) 昭和22年	音楽室	008-1	RC造	2	1960	S35	61	旧	185	30,504	20	8	12
		多目的室	008-2	RC造	2	1962	S37	59	旧	365				
		普通教室	008-3	RC造	2	1963	S38	58	旧	842				
		多目的室	008-4	RC造	2	1964	S39	57	旧	447				
		特別教室棟	012	RC造	1	1966	S41	55	旧	261				
		特別教室棟	016	RC造	2	1973	S48	48	旧	464				
		管理棟	018	RC造	2	1982	S57	39	新	630				
		屋内運動場	020	RC造	1	1986	S61	35	新	1,131				
		WC	020-1	RC造	1	1986	S61	35	新	174				
		パソコン室	023	RC造	2	1991	H03	30	新	149				
		小計												
総合計									24,144					

※経過年数は2021年時点

資料：令和3年度 いちき串木野市公立学校施設台帳

※200㎡以下の建物は除く

表：対象施設一覧（幼稚園）

※新耐震：1981年6月1日以降 単位：年、㎡、室

学校名	開校年度	建物名称	棟番号	構造	階数	建築年度		経過年数	耐震基準	延床面積(㎡)	校地面積
						西暦	和暦				
いちき市来幼稚園	(1965年) 昭和40年	園舎	007	RC造	2	1988	S63	33	新	746	8,280
		小計									

※経過年数は2021年時点

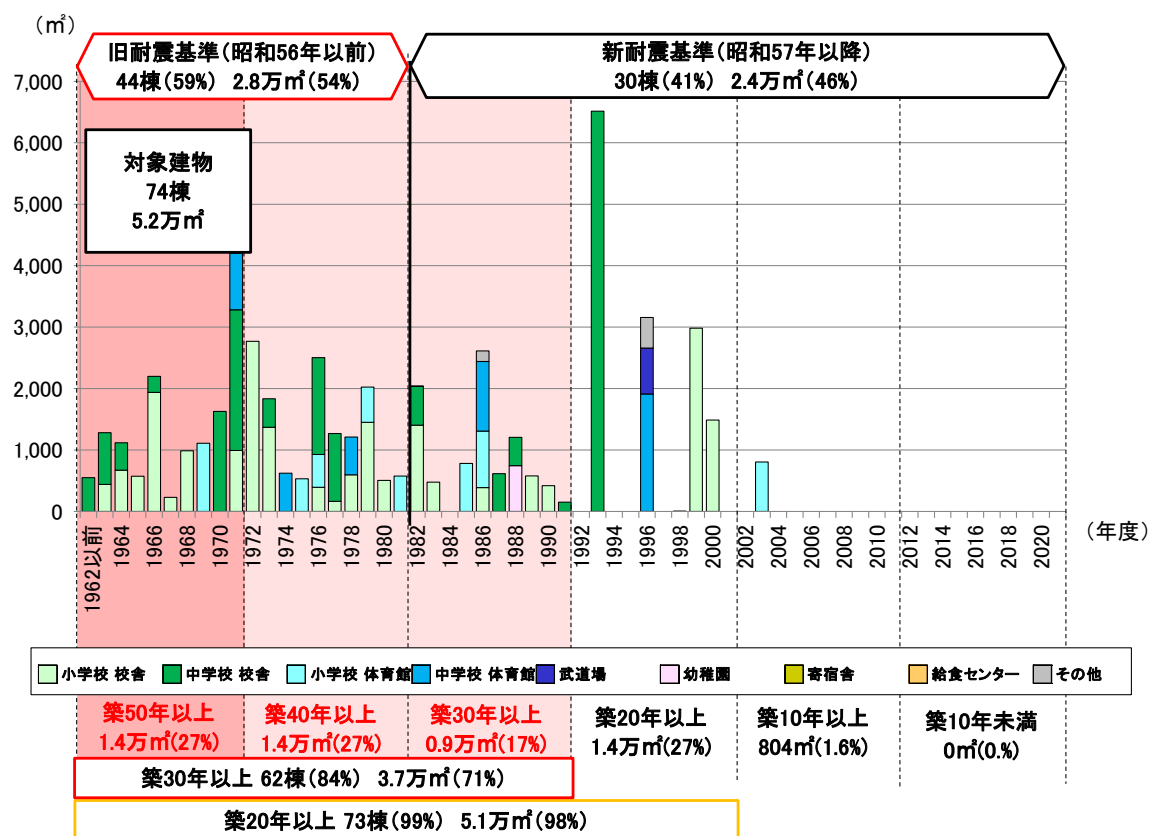
資料：令和3年度 いちき串木野市公立学校施設台帳

※200㎡以下の建物は除く

学校施設の築年別整備状況を見ると、旧耐震基準（昭和 56 年以前）によるものが 44 棟（59%）、延床面積で 2.8 万㎡（54%）、新耐震基準（昭和 57 年以降）によるものが 30 棟（41%）、延床面積で 2.4 万㎡（46%）となっており、旧耐震基準の建物が延床面積あたりにおいて 5 割半ばを占めています。

経過年数では、築 50 年以上が 1.4 万㎡（27%）、築 40 年から築 49 年までが 1.4 万㎡（27%）、築 30 年から築 39 年までが 0.9 万㎡（17%）となっており、築 30 年以上を合わせると 62 棟（84%）、延床面積 3.7 万㎡（71%）となっています。

最も新しい建物でも、市来小学校屋内運動場の 2003 年の建築です。



図：学校施設の築年別建物状況

※ 作図のプログラムにより、面積は万㎡、比率が整数になっています。

(3) 児童・生徒数及び学級数の変化

① 児童数及び学級数の推移

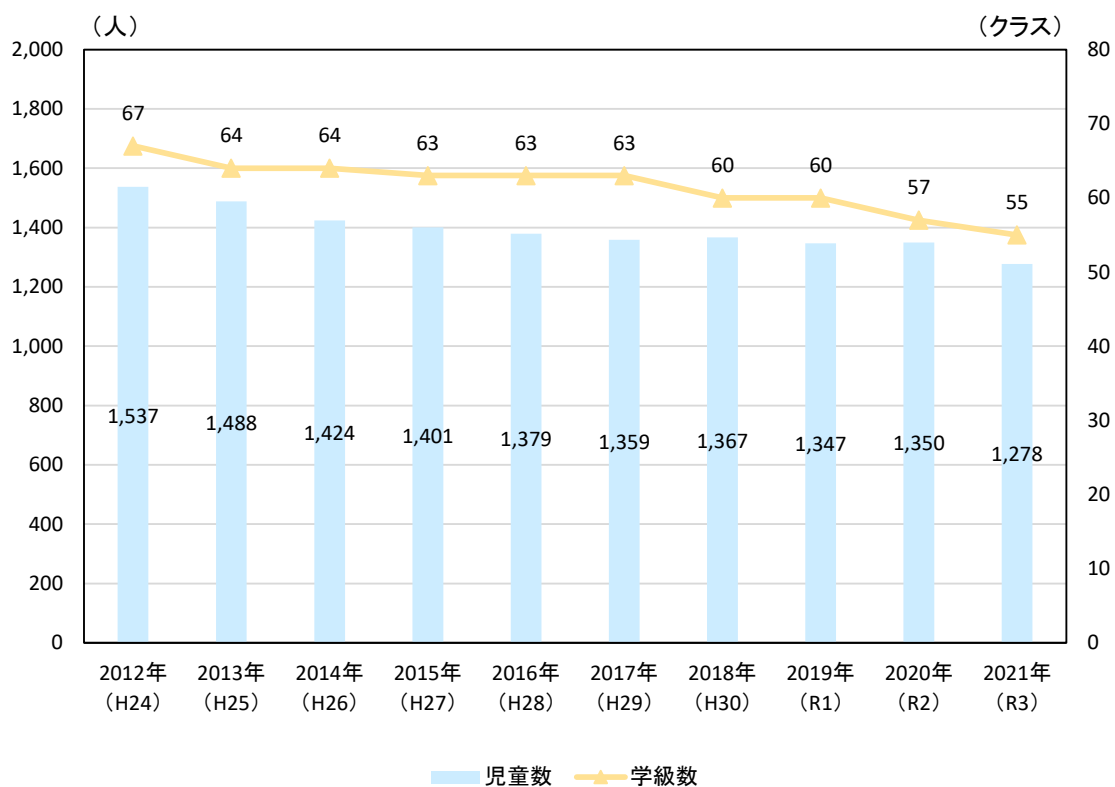
【小学校】

2012 年度以降の小学校 8 校の児童数は減少傾向にあり、2021 年度は 1,278 人となっています。2012 年度と比較すると、児童数は 16.9 ポイント減少しています。

学級数も減少傾向にあり、2021 年度は 55 クラスとなっています。2012 年度と比較すると 11 クラス減少しています。

表：児童数・学級数の推移

小学校		2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2021年/ 2012年
串木野小学校	児童数	663	648	622	623	610	601	602	601	612	589	88.8%
	学級数	21	20	19	19	20	20	20	20	18	18	-3
照島小学校	児童数	297	281	271	260	249	229	218	214	202	188	63.3%
	学級数	11	11	11	11	11	9	7	6	6	6	-5
羽島小学校	児童数	63	51	49	50	53	49	48	49	50	52	82.5%
	学級数	5	5	5	5	5	6	4	5	5	5	0
旭小学校	児童数	30	28	31	28	26	24	24	28	31	34	113.3%
	学級数	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	0
生福小学校	児童数	126	131	111	111	104	95	91	88	85	69	54.8%
	学級数	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	0
荒川小学校	児童数	45	42	32	33	34	35	39	35	29	24	53.3%
	学級数	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	-2
市来小学校	児童数	300	297	297	284	289	314	331	316	322	298	99.3%
	学級数	12	11	12	11	11	12	12	12	12	11	-1
川上小学校	児童数	13	10	11	12	14	12	14	16	19	24	184.6%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
小学校 合計	児童数	1537	1488	1424	1401	1379	1359	1367	1347	1350	1278	83.1%
	学級数	67	64	64	63	63	63	60	60	57	56	-11



図：児童数・学級数の推移

資料：いちき串木野市資料

【中学校】

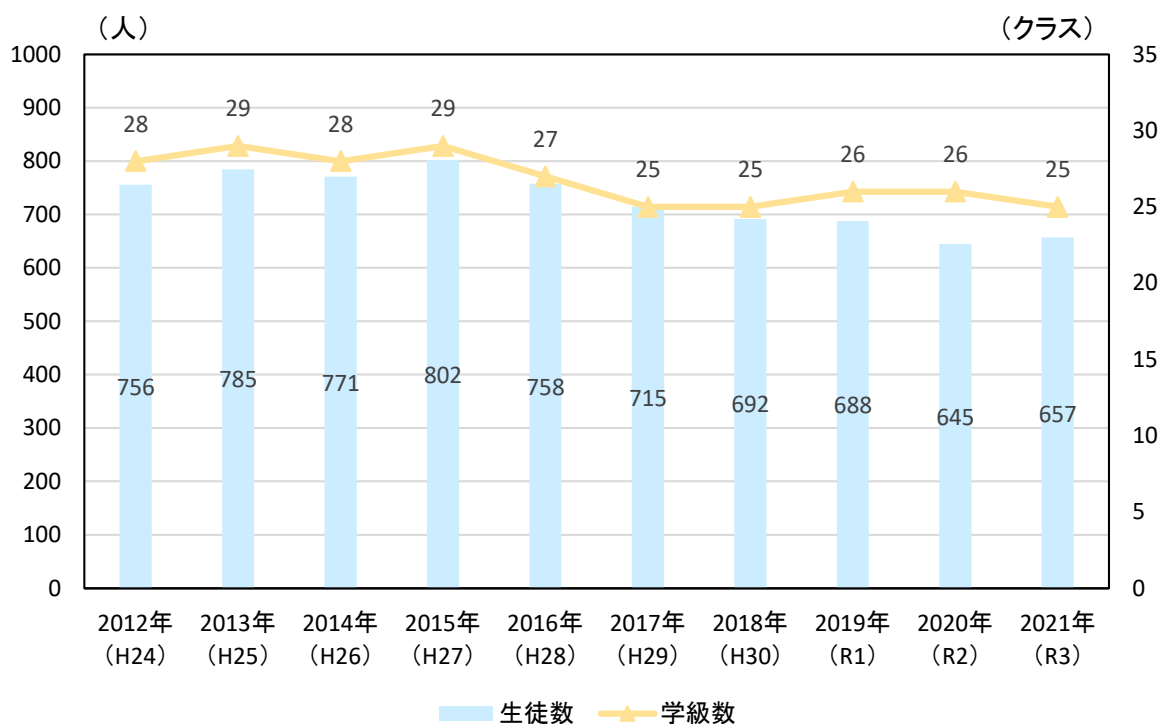
2012年度以降の中学校5校の生徒数は2015年まで増加していましたが、その後は減少傾向にあり、2021年度は657人となっています。2012年度と比較すると、生徒数は13.1ポイント減少しています。

学級数はやや減少傾向にあり、2021年度は25クラスとなっています。

表：生徒数・学級数の推移

単位：人、クラス

中学校		2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2021年/ 2012年
串木野中学校	生徒数	352	359	345	365	354	357	349	337	302	307	87.2%
	学級数	10	11	10	11	9	9	9	9	9	9	-1
串木野西中学校	生徒数	145	173	171	168	145	130	130	131	121	114	78.6%
	学級数	6	6	6	6	6	5	5	6	5	4	-2
羽島中学校	生徒数	42	35	33	37	31	25	22	24	28	25	59.5%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
生冠中学校	生徒数	62	58	71	68	71	65	64	60	44	50	80.6%
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	0
市来中学校	生徒数	155	160	151	164	157	138	127	136	150	161	103.9%
	学級数	6	6	6	6	6	5	5	5	6	6	0
中学校 合計	生徒数	756	785	771	802	758	715	692	688	645	657	86.9%
	学級数	28	29	28	29	27	25	25	26	26	25	-3



図：生徒数・学級数の推移

資料：いちき串木野市資料

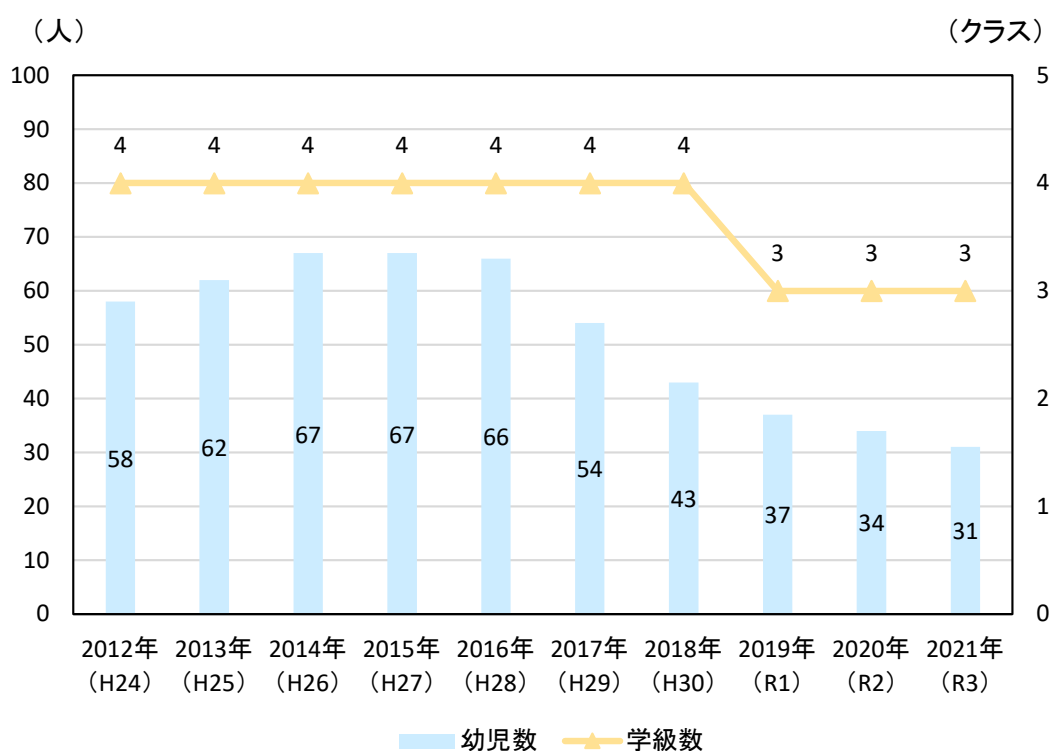
【幼稚園】

2012 年度以降の市来幼稚園の園児数は、2016 年度をピークに減少傾向にあり、2021 年度は 31 人となっています。2012 年度と比較すると、園児数は約半分となっています。

学級数は 2018 年度までは 4 クラスですが、2019 年度以降は 3 クラスとなっています。

表：園児数の推移

幼稚園		2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2021年/ 2012年
市来幼稚園	幼児数	58	62	67	67	66	54	43	37	34	31	53.4%
	学級数	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	-1



図：園児数・学級数の推移

資料：いちき串木野市資料

② 児童・生徒数の推計

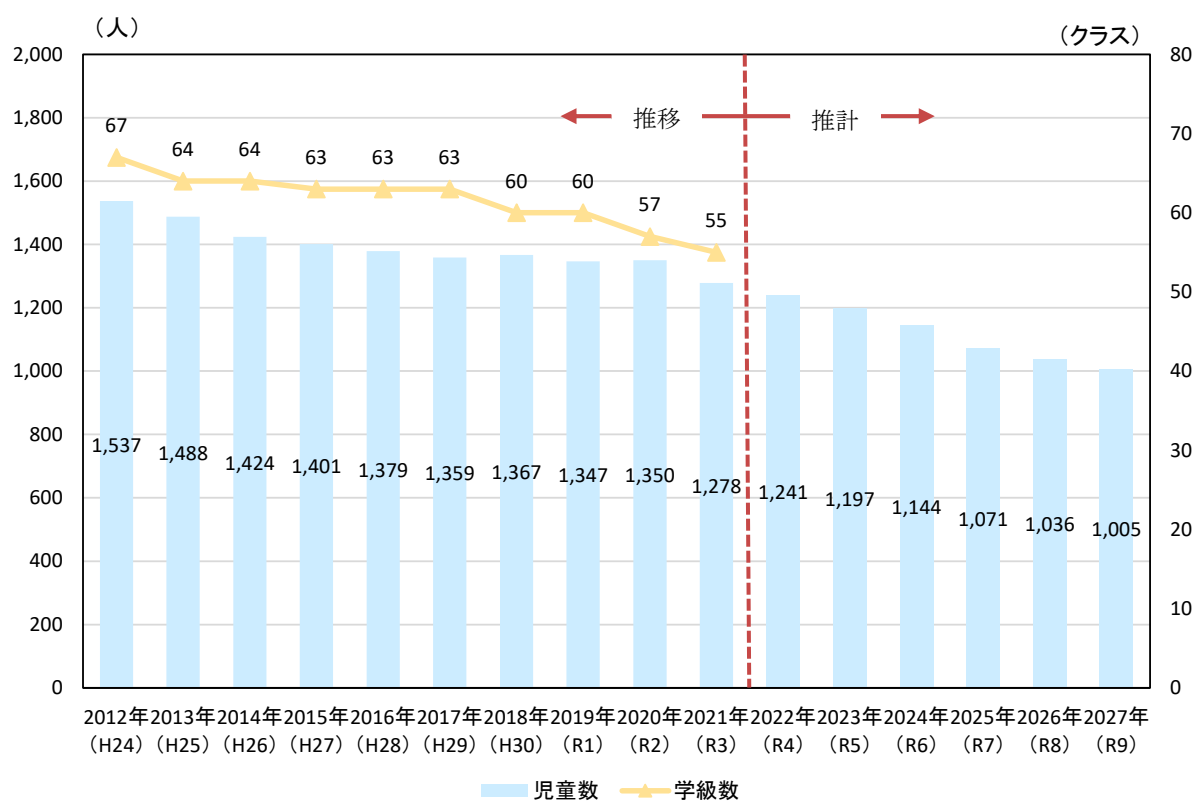
【小学校】

2027年度までの推計では、児童数は減少すると予測されています。

表：児童数の推計

単位：人

小学校	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)
串木野小学校	586	578	562	534	531	519
照島小学校	186	178	175	169	161	161
羽島小学校	48	47	41	40	33	26
旭小学校	30	28	24	20	17	8
生福小学校	69	61	63	57	51	51
荒川小学校	17	18	14	12	12	9
市来小学校	281	269	247	225	218	219
川上小学校	24	18	18	14	13	12
小学校合計	1,241	1,197	1,144	1,071	1,036	1,005



図：児童数の推計

資料：いちき串木野市資料

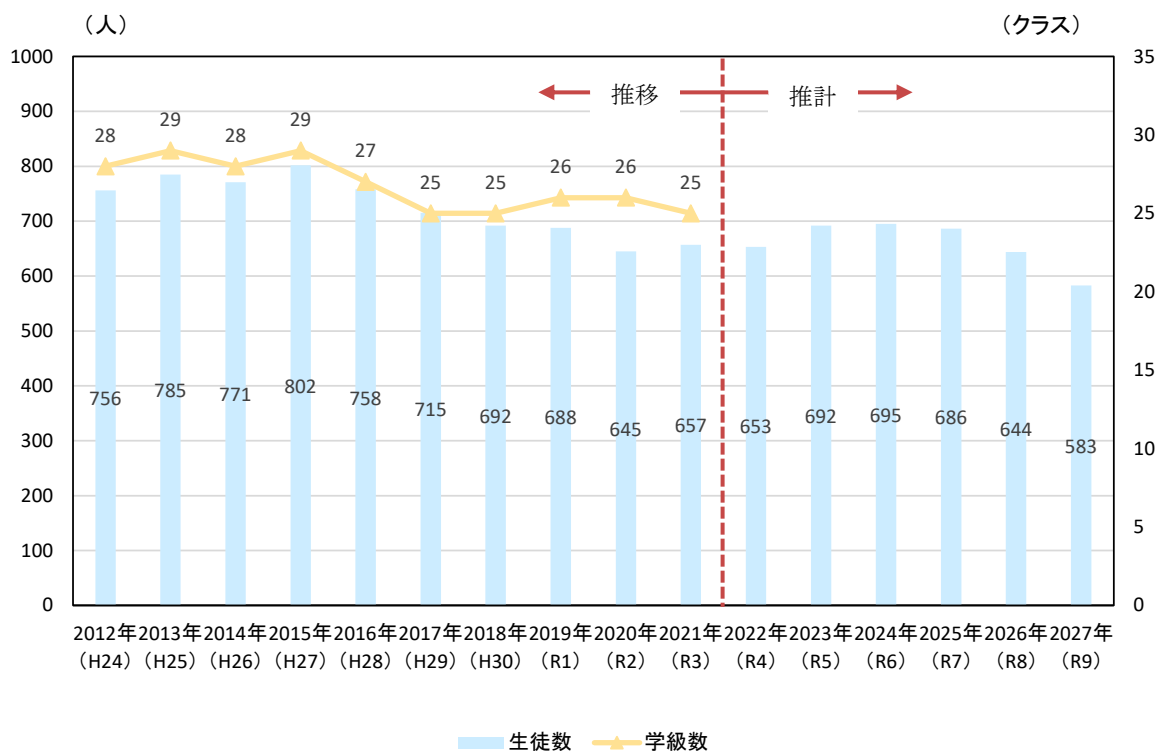
【中学校】

2027年度までの推計では、2024年度にかけて増加し、その後、減少すると予測されています。

表：生徒数の推計

単位：人

中学校	2022年 (R4)	2023年 (R5)	2024年 (R6)	2025年 (R7)	2026年 (R8)	2027年 (R9)
串木野中学校	311	325	313	311	301	281
串木野西中学校	109	121	139	132	118	106
羽島中学校	26	25	27	25	26	24
生冠中学校	46	51	39	41	35	30
市来中学校	161	170	177	177	164	142
中学校合計	653	692	695	686	644	583



図：生徒数の推計

(4) 職員数の推移

本市の小中学校、幼稚園の職員数は、小学校及び幼稚園では増減の繰り返し、中学校では減少傾向にあります。2012年と比較すると、小学校と幼稚園は増減なし、中学校で4.3ポイント減少しています。

表：小学校の職員数の推移

小学校	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2021年/ 2012年
串木野小学校	36	35	35	34	33	36	36	35	32	37	102.8%
照島小学校	20	20	21	21	20	18	16	16	17	16	80.0%
羽島小学校	11	10	10	10	10	12	9	10	10	11	100.0%
旭小学校	8	8	8	8	7	7	8	9	9	10	125.0%
生福小学校	12	12	12	15	15	16	14	14	13	15	125.0%
荒川小学校	10	9	9	9	9	9	9	9	8	8	80.0%
市来小学校	22	21	23	22	22	24	24	24	23	23	104.5%
川上小学校	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8	88.9%
合計	128	123	126	127	124	130	124	125	120	128	100.0%

単位：人

表：中学校の職員数の推移

中学校	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2021年/ 2012年
串木野中学校	29	30	29	30	29	28	29	28	28	28	96.6%
串木野西中学校	20	20	20	18	17	17	18	20	18	16	80.0%
羽島中学校	12	12	12	12	12	12	13	13	12	14	116.7%
生冠中学校	12	12	12	12	12	12	13	13	13	12	100.0%
市来中学校	21	21	21	23	22	21	19	18	19	20	95.2%
合計	94	95	94	95	92	90	92	92	90	90	95.7%

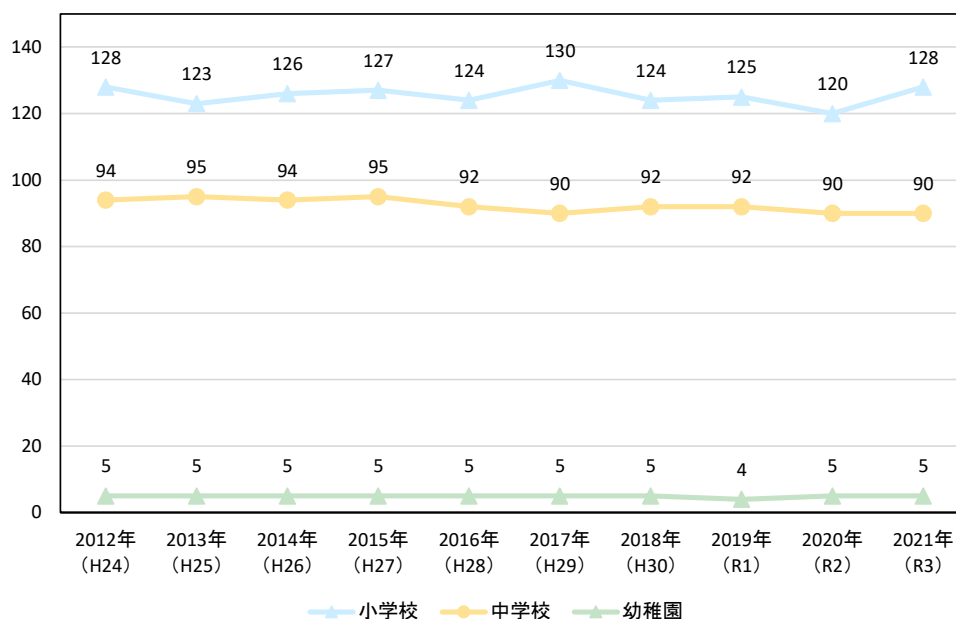
単位：人

表：幼稚園の職員数の推移

幼稚園	2012年 (H24)	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2021年/ 2012年
市来幼稚園	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	100.0%

単位：人

(人)



資料：いちき串木野市資料

(5) 学校施設の配置状況

令和 2 年における本市の人口は、串木野地区に 7 割半ばが集中しています。児童・生徒数も人口比率と同様な比率を示しています。人口比率が最も大きい串木野小学校校区で約 5 割を占め、児童・生徒数の比率も全小・中学校の中で約 5 割を占めています。

人口の比率に対し児童数の比率が高いのは、旭小学校、荒川小学校、生福小学校、市来小学校となっており、逆に児童数の比率が低いのは、照島小学校、羽島小学校、川上小学校となっています。

表：地区別の学校施設配置状況

地区	校区	人口	小学校	児童数	中学校	生徒数
		比率(%)		比率(%)		比率(%)
串木野	照島小学校区	4,999	照島小学校	202	串木野中学校	302
		18.5		15.0		
	串木野小学校区	12,182	串木野小学校	612	串木野西中学校	121
		45.1		45.3		
	旭小学校区	487	旭小学校	31	串木野西中学校	18.8
		1.8		2.3		
	荒川小学校区	292	荒川小学校	29	羽島中学校	28
		1.1		2.1		
	羽島小学校区	1,538	羽島小学校	50	生冠中学校	44
		5.7		3.7		
	生福小学校区	1,354	生福小学校	85	生冠中学校	6.8
		5.0		6.3		
冠岳小学校区	196	冠岳小学校	19	市来中学校	150	
	0.7		1.4			
市来	市来小学校区	5,481	市来小学校	322	市来中学校	23.3
		20.3		23.9		
	川上小学校区	453	川上小学校	19	市来中学校	150
		1.7		1.4		
合計		26,982	合計	1,350	合計	645
		100.0		100.0		100.0

※ 小学校は特認校児童を含む

※ 合計は小数点以下 2 位を四捨五入しているため、必ずしも 100 とはならない

資料：庁内資料



図：校区区分図（小学校）



図：校区分図（中学校）

(6) 学校の維持管理コスト

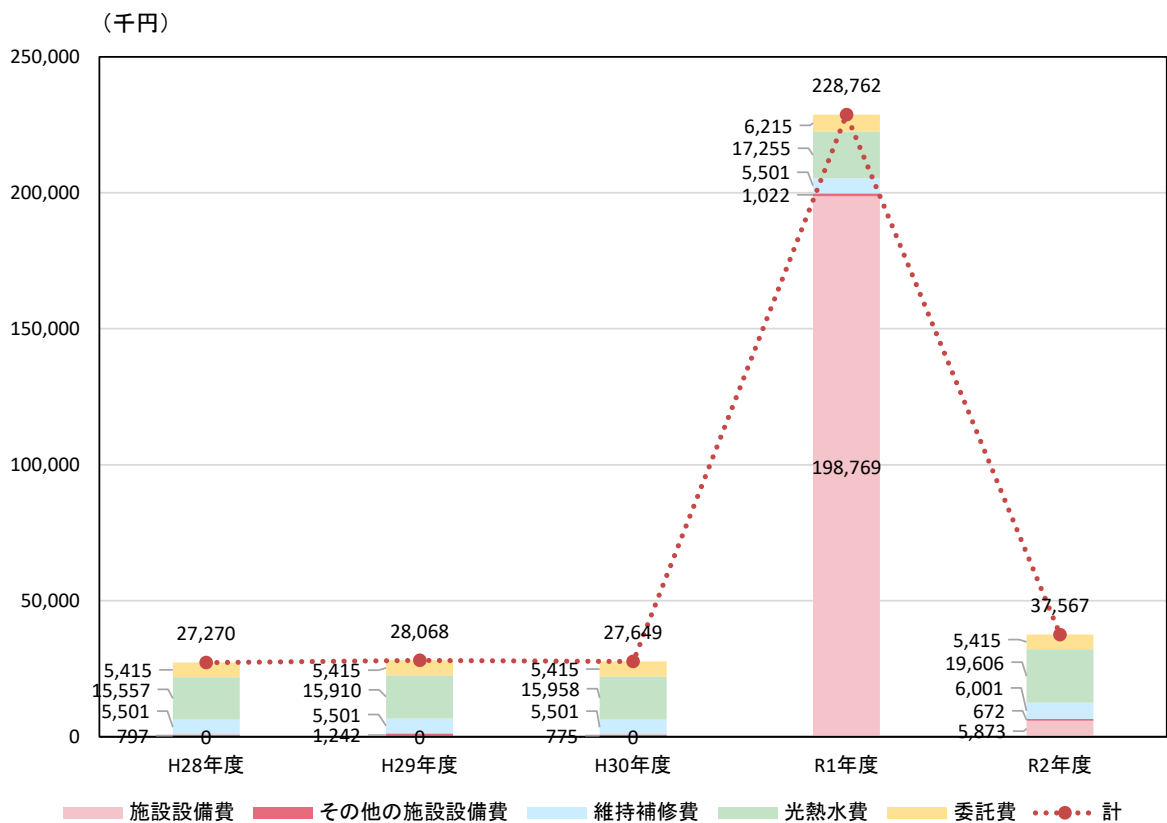
① 小学校の維持管理コストの推移

小学校の維持管理コスト（施設設備費、その他施設整備費、維持修繕費、光熱水費、委託費）に関する、平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間の全体の年平均は 69,863 千円となります。内訳をみると、施設設備費は 40,928 千円、その他施設整備費は 902 千円、維持補修費は 5,601 千円、光熱水費は 16,857 千円、委託費は 5,575 千円となっています。

表：維持管理コストの推移（小学校）

単位：千円

施設名	内容	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	年平均
串木野小学校	施設設備費	0	0	0	47,960	0	9,592
	その他の施設設備費	187	280	133	234	57	178
	維持補修費	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570
	光熱水費	4,391	4,003	4,300	4,918	6,067	4,736
	委託費	2,456	2,456	2,456	3,256	2,456	2,616
	小計	9,604	9,309	9,459	58,938	11,150	19,692
照島小学校	施設設備費	0	0	0	50,169	0	10,034
	その他の施設設備費	149	202	107	189	110	151
	維持補修費	848	848	848	848	848	848
	光熱水費	2,322	2,358	2,201	2,638	2,824	2,469
	委託費	810	810	810	810	810	810
	小計	4,129	4,218	3,966	54,654	4,592	14,312
羽島小学校	施設設備費	0	0	0	11,201	1,420	2,524
	その他の施設設備費	137	153	155	37	156	128
	維持補修費	210	210	210	210	710	310
	光熱水費	1,269	1,436	1,516	1,739	1,775	1,547
	委託費	200	200	200	200	200	200
	小計	1,816	1,999	2,081	13,387	4,261	4,709
旭小学校	施設設備費	0	0	0	6,758	0	1,352
	その他の施設設備費	121	117	87	100	89	103
	維持補修費	130	130	130	130	130	130
	光熱水費	1,036	1,073	1,063	1,191	1,164	1,105
	委託費	124	124	124	124	124	124
	小計	1,411	1,444	1,404	8,303	1,507	2,814
生福小学校	施設設備費	0	0	0	15,207	0	3,041
	その他の施設設備費	37	156	122	160	108	117
	維持補修費	357	357	357	357	357	357
	光熱水費	1,138	1,168	1,161	1,330	1,701	1,300
	委託費	341	341	341	341	341	341
	小計	1,873	2,022	1,981	17,395	2,507	5,156
荒川小学校	施設設備費	0	0	0	7,408	4,453	2,372
	その他の施設設備費	30	100	47	80	36	59
	維持補修費	121	121	121	121	121	121
	光熱水費	866	913	1,006	1,171	1,143	1,020
	委託費	116	116	116	116	116	116
	小計	1,133	1,250	1,290	8,896	5,869	3,688
市来小学校	施設設備費	0	0	0	54,450	0	10,890
	その他の施設設備費	38	137	77	132	78	92
	維持補修費	1,186	1,186	1,186	1,186	1,186	1,186
	光熱水費	3,351	3,695	3,587	3,045	3,524	3,440
	委託費	1,292	1,292	1,292	1,292	1,292	1,292
	小計	5,867	6,310	6,142	60,105	6,080	16,901
川上小学校	施設設備費	0	0	0	5,616	0	1,123
	その他の施設設備費	98	97	47	90	38	74
	維持補修費	79	79	79	79	79	79
	光熱水費	1,184	1,264	1,124	1,223	1,408	1,241
	委託費	76	76	76	76	76	76
	小計	1,437	1,516	1,326	7,084	1,601	2,593
合計	施設設備費	0	0	0	198,769	5,873	40,928
	その他の施設設備費	797	1,242	775	1,022	672	902
	維持補修費	5,501	5,501	5,501	5,501	6,001	5,601
	光熱水費	15,557	15,910	15,958	17,255	19,606	16,857
	委託費	5,415	5,415	5,415	6,215	5,415	5,575
	計	27,270	28,068	27,649	228,762	37,567	69,863



図：維持管理コストの推移（小学校）

資料：いちき串木野市資料

※各費目の内容

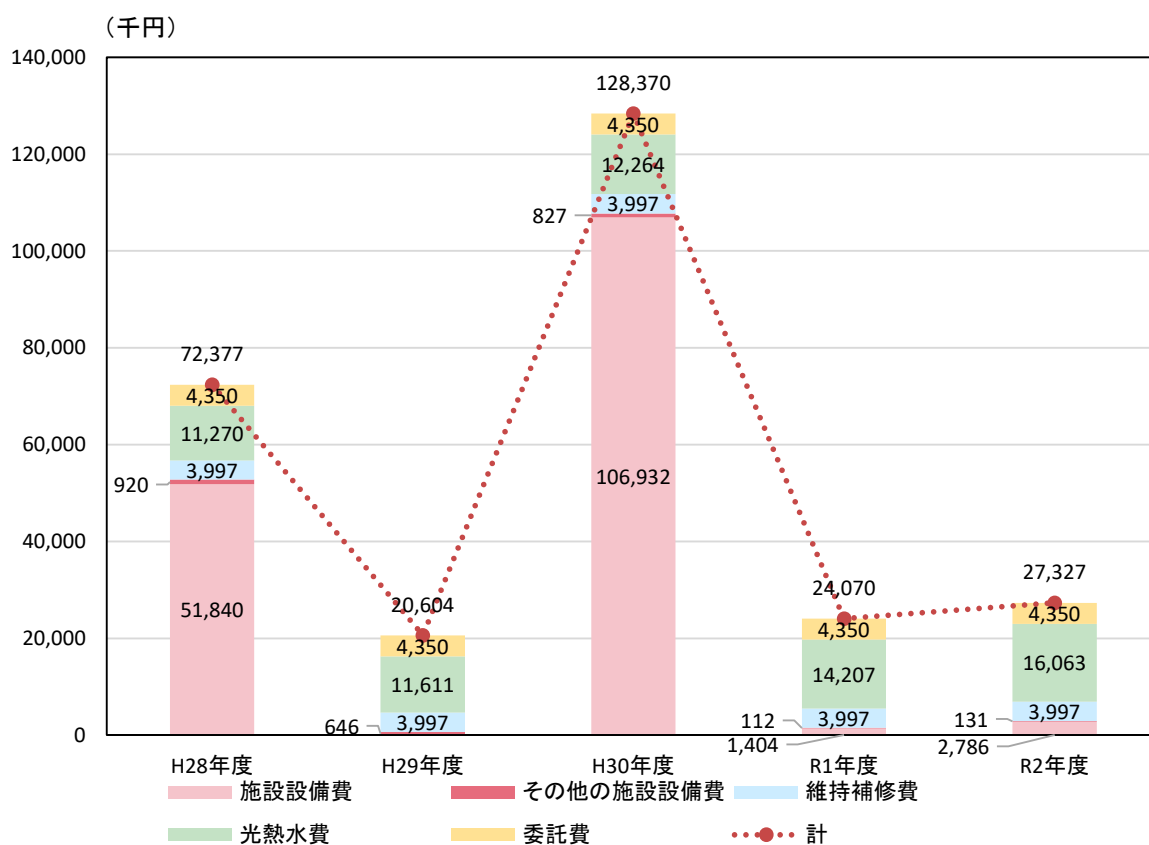
費目	内容
施設設備費	外壁改修・防水工事・エアコン取り替え等予算化された改善
その他の施設設備費	学校管理設備費(電話代・通信費)
維持補修費	営繕修理費(ドア修理、水漏れ修理など)突発的な故障や損壊に対応した修繕費用
光熱水費	水道代・電気代・灯油燃料代
委託費	外部への外注費、管理委託費等

② 中学校の維持管理コストの推移

中学校の維持管理コスト（施設設備費、その他施設整備費、維持修繕費、光熱水費、委託費）に関する、平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間の全体の年平均は 54,550 千円となります。内訳をみると、施設設備費は 32,592 千円、その他施設整備費は 527 千円、維持補修費は 3,997 千円、光熱水費は 13,083 千円、委託費は 4,350 千円となっています。

表：維持管理コストの推移（中学校）

施設名	内容	単位：千円					年平均
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
串木野中学校	施設設備費	0	0	27,257	0	0	5,451
	その他の施設設備費	225	154	323	0	0	140
	維持補修費	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872	1,872
	光熱水費	3,693	3,854	4,342	4,663	5,849	4,480
	委託費	2,038	2,038	2,038	2,038	2,038	2,038
	小計	7,828	7,918	35,832	8,573	9,759	13,982
串木野西中学校	施設設備費	0	0	15,843	1,404	0	3,449
	その他の施設設備費	198	132	84	0	0	83
	維持補修費	750	750	750	750	750	750
	光熱水費	2,095	2,078	2,187	2,822	2,561	2,349
	委託費	816	816	816	816	816	816
	小計	3,859	3,776	19,680	5,792	4,127	7,447
羽島中学校	施設設備費	0	0	11,048	0	650	2,340
	その他の施設設備費	130	121	108	0	0	72
	維持補修費	173	173	173	173	173	173
	光熱水費	1,294	1,346	1,382	1,826	1,948	1,559
	委託費	188	188	188	188	188	188
	小計	1,785	1,828	12,899	2,187	2,959	4,332
生冠中学校	施設設備費	51,840	0	12,252	0	0	12,818
	その他の施設設備費	132	100	160	0	0	78
	維持補修費	272	272	272	272	272	272
	光熱水費	1,755	1,971	2,057	2,238	2,302	2,065
	委託費	296	296	296	296	296	296
	小計	54,295	2,639	15,037	2,806	2,870	15,529
市来中学校	施設設備費	0	0	40,532	0	2,136	8,534
	その他の施設設備費	235	139	152	112	131	154
	維持補修費	930	930	930	930	930	930
	光熱水費	2,433	2,362	2,296	2,658	3,403	2,630
	委託費	1,012	1,012	1,012	1,012	1,012	1,012
	小計	4,610	4,443	44,922	4,712	7,612	13,260
合計	施設設備費	51,840	0	106,932	1,404	2,786	32,592
	その他の施設設備費	920	646	827	112	131	527
	維持補修費	3,997	3,997	3,997	3,997	3,997	3,997
	光熱水費	11,270	11,611	12,264	14,207	16,063	13,083
	委託費	4,350	4,350	4,350	4,350	4,350	4,350
	計	72,377	20,604	128,370	24,070	27,327	54,550



図：維持管理コストの推移（中学校）

資料：いちき串木野市資料

※各費目の内容（再掲）

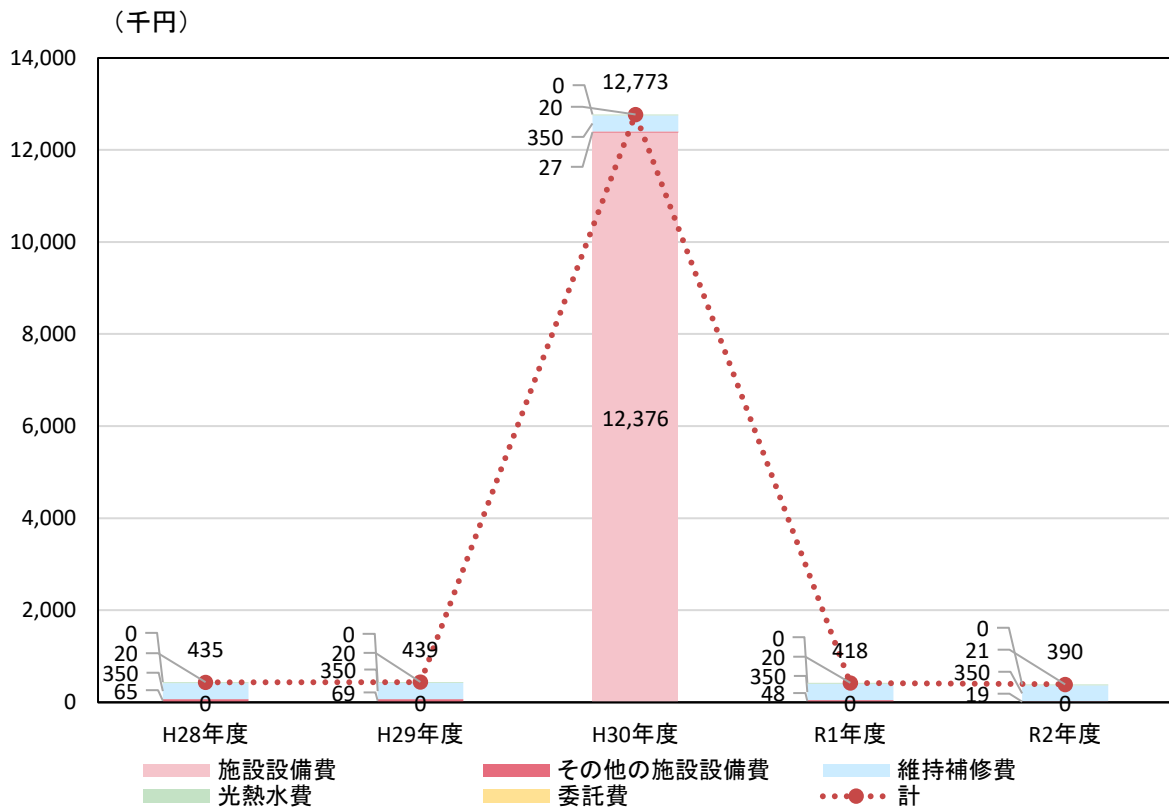
費目	内容
施設設備費	外壁改修・防水工事・エアコン取り替え等予算化された改善
その他の施設設備費	学校管理設備費(電話代・通信費)
維持補修費	営繕修理費(ドア修理、水漏れ修理など)突発的な故障や損壊に対応した修繕費用
光熱水費	水道代・電気代・灯油燃料代
委託費	外部への外注費、管理委託費等

③ 幼稚園の維持管理コスト推移

幼稚園の維持管理コスト（施設設備費、その他施設整備費、維持修繕費、光熱水費、委託費）に関する、平成 28 年度から令和 2 年度までの 5 年間の年平均は 2,891 千円となります。内訳をみると、施設設備費は 2,475 千円、その他施設整備費は 46 千円、維持修繕費は 350 千円、光熱水費は 20 千円となっており、委託費はありません。

表：管理費の推移（幼稚園）

施設名		内容						単位:千円
		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	年平均	
市来幼稚園	施設設備費	0	0	12,376	0	0	2,475	
	その他の施設設備費	65	69	27	48	19	46	
	維持補修費	350	350	350	350	350	350	
	光熱水費	20	20	20	20	21	20	
	委託費	0	0	0	0	0	0	
	計	435	439	12,773	418	390	2,891	



図：維持管理コストの推移（幼稚園）

資料：いちき串木野市資料

※各費目の内容（再掲）

費目	内容
施設設備費	外壁改修・防水工事・エアコン取り替え等予算化された改善
その他の施設設備費	学校管理設備費(電話代・通信費)
維持補修費	営繕修理費(ドア修理、水漏れ修理など)突発的な故障や損壊に対応した修繕費用
光熱水費	水道代・電気代・灯油燃料代
委託費	外部への外注費、管理委託費等

(7) 学校施設の実態を踏まえた課題

本市には小学校が 8 校、中学校が 5 校、幼稚園が 1 園ありますが、人口減少や少子高齢化の影響により、15 歳未満の人口が年々減少してきており、児童数・生徒数・園児数も減少しています。

これまでに述べたように、本市の学校施設は、築 30 年以上の建物が延床面積あたりで全体の 7 割強を占めています。建物の構造の多くは、鉄筋コンクリート造（RC 造）で建てられ、耐震診断結果に基づいた耐震補強工事や大規模改修工事等を実施してきました。しかしながら、建築から長い年数が経過して建物の老朽化が進んでいるとともに設備の不具合もあり、近い将来に建替を含めた対策が必要となっています。

また、少子化の進展により児童・生徒数の減少や学校の小規模化が進んできており、今後も更なる人口減少や少子化が予測されていることを踏まえると、学校規模の適正化について検討が必要になってきます。

さらに、教育内容や教育方法等の多様化、防災機能整備、バリアフリー化、環境への配慮等、学校施設に求められる時代のニーズに対応するための対策が課題となっています。

① 厳しい財政状況を勘案した学校施設等の長期保全への取り組み

令和元年度の一般会計の決算における自主財源の割合は、歳入総額の 37.3%となっており、将来的な人口減少に伴い、地方税も減少することが予測されます。一方、歳出においては、扶助費が増加する傾向を踏まえると、財政状況がますます厳しくなっていくことになります。

本市の公共施設は、201 施設、総延床面積 179,297 m²を保有している中で、小中学校を合わせた学校施設の延床面積は全体の約 3 割で最も多くの割合を占めています。（資料：公共施設等総合管理計画）これらの学校施設等は、近い将来に改築や大規模改修を行う必要があり、市の財政の大きな負担となることが考えられます。

このため、学校施設の中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、長期的な予算配分を確立していくことが必要です。

② 学校施設等の維持・改修等総合的な対応

学校施設の 7 割強が築 30 年以上と老朽化が進んでいる中で、建設当時に比べ大きく変化している多様な学習内容に応じた高機能かつ多機能な施設環境の必要性が高まっています。また、防災対策、バリアフリー対策、トイレの洋式化等の学習・生活空間としての安全性や快適性の向上を図るほか、環境負荷の低減対策等の様々な配慮が必要となっています。

施設の改修にあたっては、建築時の状態に戻すのではなく、その機能や性能を現在の学校が求められている水準まで引き上げる必要があります。その際には、安全・安心な施設環境の確保、教育環境の質的向上、地域コミュニティの拠点形成を目指して再生を行うことが重要です。

③ 小中学校の規模・配置の適正化の検討

児童・生徒数が減少し、国が定める適正規模の学校は本市では串木野小学校のみで、その他は過少規模校と小規模校となっています。このため、将来を見据えた小中学校の規模や配置の適正化が課題となっていますが、その検討にあたっては児童・生徒にとって望ましい教育環境はどうあるべきかという観点に立ち、保護者や地域住民等の理解や協力を得ながら進めていく必要があります。

表：学校規模の分類

	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
小学校	5学級以下	6～11学級	12～18学級	19～30学級	31学級以上
中学校	2学級以下	3～11学級			

資料：学校教育法施行規則

3. 学校施設の老朽化状況

(1) 学校施設の老朽化状況の把握

① 老朽化状況の評価

施設の健全度・劣化状況を把握し評価するために、学校施設台帳、耐震診断結果を踏まえ、さらに屋上・外壁等の実態を図るため、学校施設等 14 施設の主要建物 74 棟を対象にした目視による現地調査を行いました。

以下に示す劣化状況調査票を基に、各項目について劣化状況の確認と劣化具合の写真を撮影し、「屋根・屋上」、「外壁」に区分して評価を行いました。また、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」も経過年数により評価を行い、それらを基に総合的に施設の健全度として点数化を行いました。

【劣化状況調査票】

通し番号			調査日		
学校名			学校番号		
建物名			記入者		
棟番号			建築年度	年度(年度)	
構造種別	延床面積	m	階数	地上	階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
		年度	工事内容	箇所数			
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()				<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス				<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある		
3. 内部	内部劣化箇所②			内部劣化箇所③			
4 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修 <input type="checkbox"/> エコ改修 <input type="checkbox"/> トイレ改修 <input type="checkbox"/> 法令適合 <input type="checkbox"/> 校内LAN <input type="checkbox"/> 空調設置 <input type="checkbox"/> 障害児等対策 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)			評価
5 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修 <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事						
6 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修 <input type="checkbox"/> 排水配管改修 <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事						
7 設備情報	<input type="checkbox"/> トイレのドライ化 <input type="checkbox"/> 木質化	<input type="checkbox"/> 太陽光発電 <input type="checkbox"/> 屋上緑化	<input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> 多目的トイレ	<input type="checkbox"/> 点字ブロック <input type="checkbox"/> 手すり	<input type="checkbox"/> スロープ		

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	0 / 100点

【評価指標】

目視による評価 (屋根・屋上・外壁)		経過年数による評価 (内部仕上、電気設備、機械設備)	
評価	基準	評価	基準
A	おおむね良好	A	20年未満
B	部分的に劣化 (安全上・機能上：問題なし)	B	20～40年
C	広範囲に劣化 (安全上・機能上：不具合発生の兆し)	C	40年以上
D	早急に対応する必要がある	D	経過年数に関わらず 著しい劣化事象がある

図：評価指標

【健全度の算定】

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。部位のコスト配分を下表のように定め、健全度を100点満点で算定します。

表：部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

表：部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
合計	60.0

- 計算例：総和（部位の評価点×部位のコスト配分）÷ 60（コスト配分合計）
















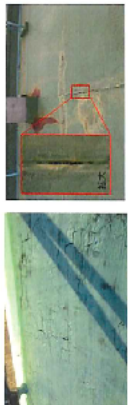




表：計算例

部位	評価	→	評価点例	×	コスト配分	=	配分評価点
屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
内部仕上	B	→	75	×	22.4	=	1,680
電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷60
健全度							52

※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示します。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：屋根・屋上】

評価 仕様	劣化			
	A	B	C	D
アスファルト 保護防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ひび割れ、変質、排水不良、目地シーリングの損傷がある。	 広範囲に、ひび割れ、変質、排水不良、土砂の堆積、雑草、目地シーリングの損傷が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、根張、幅広のひび割れ、排水不良があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
アスファルト 露出防水	 部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 部分的に、ひび割れ、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、根張、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。	 広範囲に、破断、根張、下地露出、幅広のひび割れがあり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
シート 防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
塗膜防水	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、ふくれ、しわ、変質(摩耗)、排水不良がある。	 広範囲に、ふくれ、しわ、穴あき、変質(摩耗)、排水不良、土砂の堆積、雑草が見られ、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、破断、めくれ、下地露出があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。
金属板 (長尺、 折板、 平葺き)	 良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)	 部分的に、根張のはがれ、さび、変質(摩耗)、シーリング材のひび、釘のひび、金物のさびがある。	 広範囲に、根張のはがれ、さび、変質、シーリング材のひび、釘のひび、金物のさび、部分的な腐食・根張があり、最上階天井に漏水痕がある。	 広範囲に、さび、はがれ、腐食、取付金物の根張があり、最上階天井に漏水が複数箇所ある。

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好

《解説》

《点検項目》

- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と思われるシミやカビがないか。
- ✓ 防水面において、膨れ、剥がれ、破れ、穴開きなどがないか。
- ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 上記のような劣化現象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまい、劣化が進み、湿水が発生する恐れがある。
- ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
- ✓ パラペット立上り部分の防水部で、剥がれ等がないか確認する。
- ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
- ✓ 1箇所の劣化現象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
- ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
- ✓ 現状として、降雨時に複数箇所を雨漏りしている場合はD評価とする。半断半雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済みでも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、見逃める必要がある。

【評価基準：外壁】

仕様	目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。			
	良好 A	良好 B	C	劣化 D
塗り仕上げ	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質・浮き・さび汁がある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・さび汁があり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に、剥落・燻裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
タイル張り 石張り	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひび割れがある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひび割れがある。</p>	 <p>広範囲に、剥落・燻裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
金属系 パネル	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、さび・変質・シーリング材のひび割れがある。</p>	 <p>広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび割れ・さびがあり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
セメント系 パネル	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、ひび割れ、変質・欠損・シーリング材のひび割れがある。</p>	 <p>広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび割れ・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。</p>	 <p>欠陥・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠陥があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。</p>
窓 (サッシ)	 <p>良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)</p>	 <p>部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。</p>	 <p>全体的に、変形・変質・さび・シーリング材の硬化・ひび割れが見られる。</p>	 <p>全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。</p>

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

《点検項目》

- 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
- 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ・垂れや塗膜の剥がれがないか。また、降雨時や翌日に床面に水溜りができていないか。
- 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の燻裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
- 柱・梁、窓番などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
- 窓枠と外壁との隙間に隙が空いているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
- 上記のような劣化事象の箇所数を記入。




《点検の留意点》

- 目視によって外壁の状態を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・錠の破損等について確認する必要がある。
- 雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。判断を5箇所以上をD評価とする。概ね5箇所以上をD評価とする。

出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）

【評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備】

部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

		CまたはDの事象(例)	
内部 仕上	<p>● 床、壁、天井</p> <p>● 内部開口部(扉、窓、防火戸)</p> <p>● 室内表示、手すり、固定家具など</p> <p>● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具</p>	<p>● 内部仕上げと設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 特定の教室のみの改修 天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事 広範囲(25%以上の面積)または箇所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることを目安とする。 	 <p>天井材の落下、剥がれ</p>  <p>床のひび割れ</p>  <p>灰仕上の剥がれ</p>
	電気設備	<p>● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 受変電設備の更新 防災設備、放送設備など、単独設備の更新 <p>(評価例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 制御盤室やコンピュータ室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価 	<p>● 建物内の分電盤・配線・配管 (電灯・コンセント設備) (弱電設備)</p> <p>受変電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。</p>
機械設備	<p>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管</p> <p>受水槽、高圧水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。</p>	<p>● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管(対象外の工事の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 部分的な修繕等 <p>(評価例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価 	

《解説》

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、左頁にあるような事象が認められ、それらも加味して総合的に評価すること。

対象となる部位、及びC/D評価に該当する事象例を右表に示す。

《点検項目》

- 内部において、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やポード類の浮きや異音などがないか。
- 天井ポードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。
- 設備機器においては、機器や装置に錆・損傷・変色などがないか。
- 設備機器に漏水・漏油などがないか。
- 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。
- 機器から異音はしていないか。
- 保守点検や消防の点検などでは正措置等の指摘がないか。

《点検の留意点》

- 目視によって状態を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- 受変電設備等の高圧機器は、メンテナンスの外から目視により確認する。
- 施設管理者からのヒアリングも有効。
- 日視で評価する場合、複数台あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

② 老朽化状況の実態

現地の目視評価を踏まえた劣化状況による建物の健全度について、評価結果を以下に示します。

表：劣化状況（1/3）

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

 : 築50年以上 : 築30年以上 基準 2021

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考			
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備	健全度(100点満点)	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)								試算上の区分
1	1063	串木野小学校	管理棟1F	001		小学校	校舎	RC	1	195	1972	S47	49	旧	済	-	H21	17.9	長寿命	-	B	B	A	A	82	耐震性あり/H24大規模
2	1063	串木野小学校	管理棟1F	001-1		小学校	校舎	RC	1	160	1973	S48	48	旧	済	-	H21	17.9	長寿命	-	A	A	A	A	100	耐震性あり/H24大規模
3	1063	串木野小学校	管理棟2F	001-2		小学校	校舎	S	2	316	1978	S53	43	旧	済	済	H21	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	H24耐震、大規模
4	1063	串木野小学校	階段室	001-3		小学校	校舎	S	2	6	1978	S53	43	旧	済	済	H21	-	長寿命	A	C	A	A	-	80	H24耐震、大規模
5	1063	串木野小学校	教室棟	011-1		小学校	校舎	RC	2	440	1963	S38	58	旧	済	-	H20	14.4	長寿命	C	C	C	C	D	36	H7大規模
6	1063	串木野小学校	教室棟	011-2		小学校	校舎	RC	2	360	1964	S39	57	旧	済	-	H20	14.4	長寿命	C	C	C	C	D	36	H7大規模
7	1063	串木野小学校	教室棟	011-3		小学校	校舎	RC	2	281	1965	S40	56	旧	済	-	H20	14.4	長寿命	C	C	C	C	D	36	H7大規模
8	1063	串木野小学校	教室棟	011-4		小学校	校舎	RC	2	292	1965	S40	56	旧	済	-	H20	14.4	長寿命	C	C	C	C	D	36	H7大規模
9	1063	串木野小学校	屋内運動場	018		小学校	体育館	RC	1	1,109	1969	S44	52	旧	済	済	H20	15.2	長寿命	A	A	A	A	A	100	H24耐震、大規模
10	1063	串木野小学校	教室棟	037		小学校	校舎	RC	2	872	1999	H11	22	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
11	1063	串木野小学校	教室棟	038		小学校	校舎	RC	2	2,112	1999	H11	22	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
12	1063	串木野小学校	教室棟	039		小学校	校舎	RC	2	1,487	2000	H12	21	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
13	1064	照島小学校	教室棟	001		小学校	校舎	RC	2	1,209	1973	S48	48	旧	済	-	H19	21.3	長寿命	A	B	A	A	A	93	H26北校舎大規模改修/H30空調
14	1064	照島小学校	教室棟	001-1		小学校	校舎	RC	2	394	1976	S51	45	旧	済	済	H19	18.2	長寿命	A	B	A	A	A	93	H26耐震大規模/H30空調
15	1064	照島小学校	管理棟	002		小学校	校舎	RC	2	1,451	1979	S54	42	旧	済	-	H21	18	長寿命	C	D	C	C	D	28	H30空調
16	1064	照島小学校	管理棟	002-1		小学校	校舎	RC	2	507	1980	S55	41	旧	済	-	H21	18	長寿命	C	D	C	C	D	28	
17	1064	照島小学校	屋内運動場	004		小学校	体育館	RC	1	919	1986	S61	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	R1最上部防水全面改修/H27防災機能強化(シルバーケル補強)
18	1065	羽島小学校	管理教室棟	001		小学校	校舎	RC	2	1,398	1982	S57	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	B	53	H30空調
19	1065	羽島小学校	教室棟	003-1		小学校	校舎	RC	2	832	1966	S41	55	旧	済	-	H20	17.1	長寿命	C	C	C	C	D	36	H30空調
20	1065	羽島小学校	教室棟	003-2		小学校	校舎	RC	2	230	1967	S42	54	旧	済	-	H20	17.1	長寿命	C	C	C	C	D	36	H30空調
21	1065	羽島小学校	屋内運動場	015		小学校	体育館	RC	2	781	1985	S60	36	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51	
22	1066	旭小学校	管理棟	001		小学校	校舎	W	1	302	1972	S47	49	旧	済	-	H24	-	長寿命	B	B	C	C	D	49	壁量確認済/H25屋根外装塗装
23	1066	旭小学校	図書室	002		小学校	校舎	W	2	168	1990	H2	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	H25屋根外装塗装
24	1066	旭小学校	教室棟	003		小学校	校舎	W	1	427	1972	S47	49	旧	済	-	H24	-	長寿命	C	C	C	C	D	36	壁量確認済/H25外壁改修、屋根塗装/H30空調
25	1066	旭小学校	音楽室	006-1		小学校	校舎	W	1	94	1972	S47	49	旧	済	-	H24	-	長寿命	C	A	C	C	D	54	壁量確認済/H25外壁改修、屋根塗装
26	1066	旭小学校	給食室	006-2		小学校	その他	W	1	7	1982	S57	39	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	-	86	H25屋根外壁塗装
27	1066	旭小学校	給食室	006-3		小学校	その他	W	1	4	1998	H10	23	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	-	77	
28	1066	旭小学校	屋内運動場	008		小学校	体育館	S	1	532	1976	S51	45	旧	済	済	H19	-	長寿命	C	B	A	A	A	88	H20大規模/H20(特)地震補強

表：劣化状況 (2/3)

健全度判定表(文科省エクセルソフト)

■: 築50年以上 ■: 築30年以上 基準 2021

A: 概ね良好 C: 広範囲に劣化
B: 部分的に劣化 D: 早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考			
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備	健全度(100点満点)	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)								試算上の区分
29	1067	生福小学校	管理・特別教室棟	001		小学校	校舎	RC	2	577	1989	H元	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
30	1067	生福小学校	教室棟	007-1		小学校	校舎	RC	2	687	1968	S43	53	旧	済	済	H21	17.7	長寿命	D	B	A	A	A	85	H26耐震大規模/H30空調
31	1067	生福小学校	教室棟	007-2		小学校	校舎	RC	2	276	1978	S53	43	旧	済	済	H21	17.7	長寿命	A	B	A	A	A	93	H26耐震大規模
32	1067	生福小学校	屋内運動場	008		小学校	体育館	RC	1	576	1981	S56	40	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	C	C	D	34	
33	1068	荒川小学校	音楽室	001		小学校	校舎	W	1	164	1977	S52	44	旧	-	-	-	-	改築	C	C	C	C	D	36	
34	1068	荒川小学校	多目的教室	003-1		小学校	校舎	RC	1	311	1964	S39	57	旧	済	-	H20	18.5	長寿命	D	C	C	C	D	34	耐震性あり/H30空調
35	1068	荒川小学校	給食室	003-2		小学校	校舎	W	1	6	1982	S57	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
36	1068	荒川小学校	屋内運動場	010		小学校	体育館	RC	1	532	1975	S50	46	旧	済	済	H19	27	長寿命	B	B	C	A	A	68	H20大規模/H20(特)地震補強
37	1068	荒川小学校	普通教室	015		小学校	校舎	RC	2	389	1986	S61	35	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70	H30空調
38	1253	市来小学校	特別教室棟	002		小学校	校舎	S	1	300	1968	S43	53	旧	済	-	H21	S	長寿命	B	C	C	C	D	39	耐震性あり
39	1253	市来小学校	屋内運動場	003		小学校	体育館	RC	1	804	2003	H15	18	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
40	1253	市来小学校	教室棟	016		小学校	校舎	RC	3	992	1971	S46	50	旧	済	済	H17	14.1	長寿命	B	C	B	A	A	71	H18大規模改造(老朽)、地震補強
41	1253	市来小学校	教室棟	017		小学校	校舎	RC	3	1,752	1972	S47	49	旧	済	済	H17	14.1	長寿命	B	B	A	A	A	91	H18大規模改造(老朽)、地震補強
42	1253	市来小学校	特別教室棟	021		小学校	校舎	RC	2	475	1983	S58	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
43	1254	川上小学校	屋内運動場	001		小学校	体育館	RC	1	573	1979	S54	42	旧	済	済	H19	24.9	長寿命	B	C	B	A	A	71	H22大規模改造(老朽)、(特)地震補強
44	1254	川上小学校	教室棟	003		小学校	校舎	RC	3	1,106	1966	S41	55	旧	済	済	H19	15.1	長寿命	A	B	A	A	A	93	H19耐震診断より便所棟(14号棟)と分離/H25地震補強及び大規模改造/H30空調
45	1254	川上小学校	家庭科室	008		小学校	校舎	W	1	250	1990	H2	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
46	4032	串木野中学校	校舎	030-1		中学校	校舎	RC	3	3,092	1993	H5	28	新	-	-	-	-	長寿命	D	B	B	B	B	70	H27屋根一部葺替え
47	4032	串木野中学校	校舎	030-2		中学校	校舎	RC	3	443	1993	H5	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	H27屋根一部葺替え
48	4032	串木野中学校	校舎	030-3		中学校	校舎	RC	3	2,980	1993	H5	28	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	H27屋根一部葺替え
49	4032	串木野中学校	屋内運動場	032-1		中学校	体育館	RC	3	1,910	1996	H8	25	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	H27防災機能強化(吊天井撤去他)
50	4032	串木野中学校	屋体クラブハウス	032-2		中学校	その他	RC	3	200	1996	H8	25	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
51	4032	串木野中学校	柔剣道場	032-3		中学校	武道場	RC	3	750	1996	H8	25	新	-	-	-	-	長寿命	-	C	B	B	B	64	H27防災機能強化(吊天井撤去他)
52	4032	串木野中学校	部室	032-4		中学校	その他	RC	3	297	1996	H8	25	新	-	-	-	-	長寿命	-	A	B	B	B	83	
53	4033	串木野西中学校	管理教室棟	001		中学校	校舎	RC	3	1,627	1970	S45	51	旧	済	済	H9	20.9	長寿命	A	A	A	A	A	100	H27地震補強、大規模改造、空調改修、防災機能強化(外壁)
54	4033	串木野西中学校	教室棟	001-1		中学校	校舎	RC	3	1,468	1971	S46	50	旧	済	済	H9	20.9	長寿命	A	A	A	A	A	100	H27地震補強、大規模改造、空調改修、防災機能強化(外壁)
55	4033	串木野西中学校	特別教室棟	002		中学校	校舎	RC	2	821	1971	S46	50	旧	済	-	H21	16.5	長寿命	C	D	C	C	D	28	
56	4033	串木野西中学校	屋内運動場	003		中学校	体育館	RC	1	919	1971	S46	50	旧	済	済	H19	18	長寿命	D	D	D	A	A	33	H20大規模/H20(特)地震補強

表：劣化状況（3/3）

健全度判定表（文科省エクセルソフト）

■：築50年以上 □：築30年以上 基準 2021

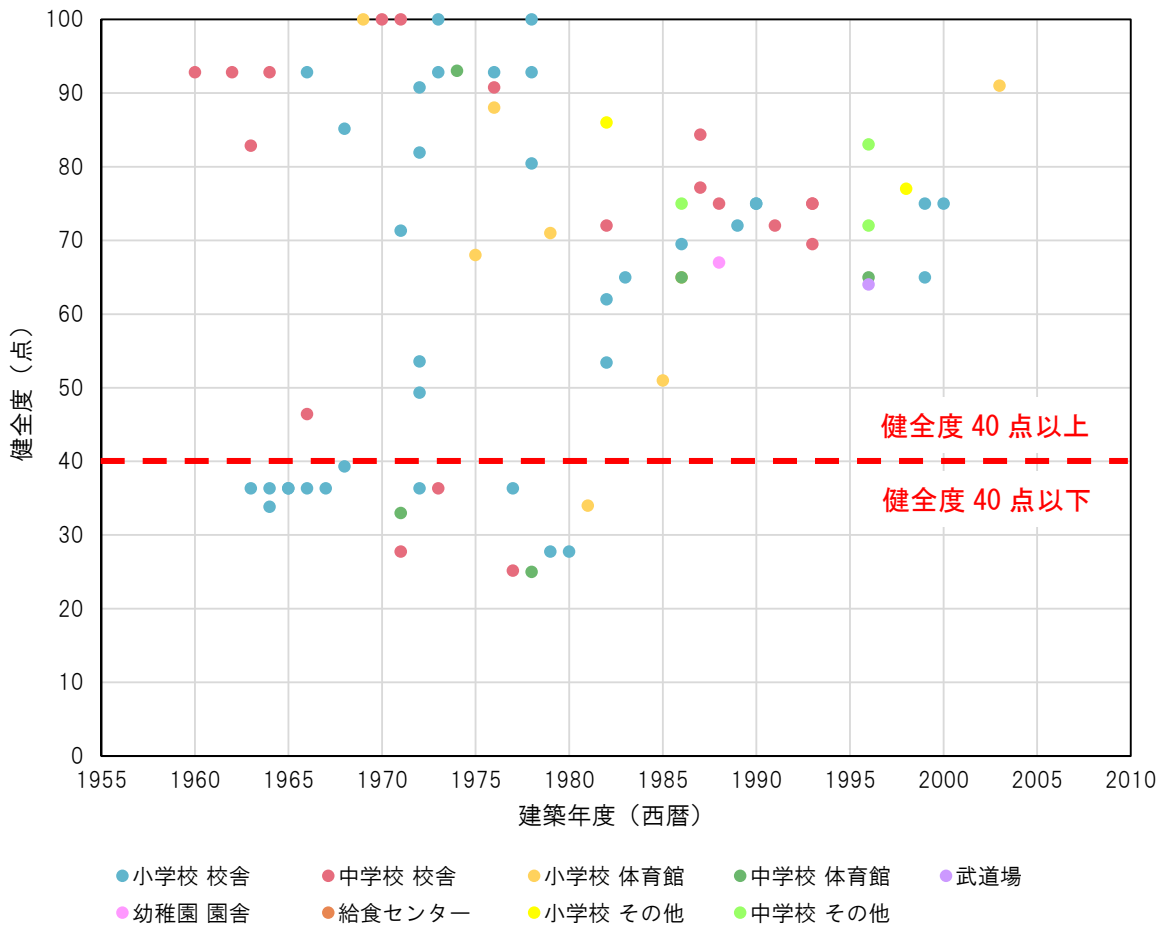
A：概ね良好 C：広範囲に劣化
B：部分的に劣化 D：早急に対応する必要がある

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考			
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産 台帳番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備		機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	築年数	基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/mm ²)								試算上 の区分
57	4034	羽島中学校	管理教室棟	001		中学校	校舎	RC	3	1,576	1976	S51	45	旧	済	済	H9	23	長寿命	B	B	A	A	A	91	H23地震補強+大規模改造(老朽)
58	4034	羽島中学校	印刷室	001-2		中学校	校舎	RC	1	14	1987	S62	34	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	84	
59	4034	羽島中学校	特別教室棟	004		中学校	校舎	RC	3	600	1987	S62	34	新	済	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	H27屋上防水更新
60	4034	羽島中学校	屋内運動場	018		中学校	体育館	RC	1	614	1978	S53	43	旧	済	-	H20	19.9	長寿命	D	D	C	C	D	25	
61	4035	生冠中学校	特別教室棟	002		中学校	校舎	RC	2	459	1988	S63	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
62	4035	生冠中学校	管理教室棟	004		中学校	校舎	RC	2	1,105	1977	S52	44	旧	済	-	H21	17	長寿命	D	D	C	C	D	25	H15教育相談室増築8.0㎡
63	4035	生冠中学校	屋内運動場	012		中学校	体育館	RC	1	621	1974	S49	47	旧	済	済	H19	19.6	長寿命	A	B	A	A	A	93	H20大規模/H20(特)地震補強
64	4127	市来中学校	音楽室	008-1		中学校	校舎	RC	2	185	1960	S35	61	旧	済	済	H20	12.9	要調査	A	B	A	A	A	93	H27地震補強、大規模改造
65	4127	市来中学校	多目的室	008-2		中学校	校舎	RC	2	365	1962	S37	59	旧	済	済	H20	12.9	要調査	A	B	A	A	A	93	H27地震補強、大規模改造
66	4127	市来中学校	普通教室	008-3		中学校	校舎	RC	2	842	1963	S38	58	旧	済	済	H20	12.9	要調査	A	C	A	A	A	83	H27地震補強、大規模改造
67	4127	市来中学校	多目的室	008-4		中学校	校舎	RC	2	447	1964	S39	57	旧	済	-	H20	12.9	要調査	A	B	A	A	A	93	H27大規模改造
68	4127	市来中学校	特別教室棟	012		中学校	校舎	RC	1	261	1966	S41	55	旧	済	-	H20	17.3	長寿命	C	B	C	C	D	46	
69	4127	市来中学校	特別教室棟	016		中学校	校舎	RC	2	464	1973	S48	48	旧	済	済	H21	15.8	長寿命	C	C	C	C	D	36	
70	4127	市来中学校	管理棟	018		中学校	校舎	RC	2	630	1982	S57	39	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
71	4127	市来中学校	屋内運動場	020		中学校	体育館	RC	1	1,131	1986	S61	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
72	4127	市来中学校	WC	020-1		中学校	その他	RC	1	174	1986	S61	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
73	4127	市来中学校	パソコン室	023		中学校	校舎	RC	2	149	1991	H3	30	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
74	7004	市来幼稚園	園舎	007		幼稚園	園舎	RC	2	746	1988	S63	33	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	B	B	B	67	H30教室・遊戯室空調整備

小学校の対象建物全 45 棟の健全度の平均値は 64.9 点、健全度 40 点未満の建物は 13 棟あり、中学校においては全 28 棟の平均値は 70.1 点、健全度 40 点未満の建物は 5 棟となっています。幼稚園の対象施設 1 棟の健全度は 67 点となっています。

建築年度と健全度の関係を見ると、建築年度が古いほど健全度が低く、新しくなるにつれて健全度が高くなりますが、段階的に大規模改造工事を行っており、古い建物でも健全度が高いものもあります。

なお、健全度 40 点未満なら優先的に長寿命化等の対策を講じることが望ましいとされています。



図：建築年と健全度の相関

(2) 学校施設の老朽化所見

現地調査の結果、学校施設等の建物は以下のような老朽化状態がみられます。

① 小学校 校舎

- ・ 築 40 年を経過した建物の老朽化が見られますが、大規模改造等の実施によって健全度の高い建物も多数あります。
- ・ 築 40 年未満の建物は、部分的な劣化は見られますが、広範囲の劣化はあまり見られません。
- ・ 機械設備を建築時から一度も更新していない建物が多数あります。

② 中学校 校舎

- ・ 築 40 年を経過した建物の老朽化が見られますが、大規模改造等の実施によって健全度の高い建物も多数あります。
- ・ 築 30 年未満の建物は、部分的な劣化は見られますが、広範囲の劣化はあまり見られません。
- ・ 機械設備を建築時から一度も更新していない建物があります。

③ 小学校 体育館

- ・ 体育館は地域の避難所としての機能があり、旧耐震基準の建物は全て耐震補強を行っています（生福小学校は令和 4 年度に避難所として再指定）。市来小学校以外の体育館が建築後 30 年を経過しており、屋根・屋上、外壁ともに徐々に劣化が進行しています。
- ・ 羽島小学校体育館の屋根・外壁及び生福小学校体育館の屋根及び機械設備は特に劣化が進んでおり、早急に対応する必要があります。

④ 中学校 体育館

- ・ 羽島中学校以外の体育館は地域の避難所としての機能があり、旧耐震基準の建物は全て耐震補強を行っています。
- ・ 築 40 年未満の建物は、部分的な劣化は見られますが、広範囲の劣化はあまり見られません。
- ・ 串木野西中学校体育館の屋根・外壁・内部、羽島中学校体育館の屋根・外壁及び機械設備は特に劣化が進んでおり、早急に対応する必要があります。

⑤ 武道場

- ・ 柔剣道場（串木野中学校）は平成 8 年度に建築された建物で、広範囲の劣化が徐々に進んでいます。

⑥ 幼稚園

- ・ 市来幼稚園は築 33 年を経過しており、外壁の老朽化が進行しています。

⑦ 小学校 その他（給食室）

- ・ 給食室 2 棟（旭小学校）は、経年による部分的な劣化は見られますが、比較的良好な状態です。

⑧ 中学校 その他（屋体クラブハウス、部室）

- ・ 屋体クラブハウス（串木野中学校）は、築 25 年の建物で、屋根に部分的な劣化が見られますが、それ以外は比較的良好な状態です。
- ・ 部室（串木野中学校）は築 25 年の建物です。比較的良好な状態が保たれています。